

【LV】外国語コミュニケーション I		教養科目		1年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	フェハリー フェリベ						
資格・制限等	幼教は卒業必修・歯科は選択必修						
実務家教員							
授業内容	グローバルな社会の舞台に立つことができるために、英語の文法能力のみではなく、英語で自分の意見を考え、他人に自分で考えたことを伝える自信をもつ必要があります。本演習では、教育、文化、社会、倫理、技術などの様々な現代的な問題を考え、ディスカッションをしましょう。						
授業方法	英語で現代社会における問題をディスカッションしながら、英語能力を高める。						
到達目標	知識・理解	英語で自分の意見を伝えることができる。			◎		
	思考・判断・表現	自分で考えたことを理性的にまとめて、英語で文章を作ることができる。			◎		
	技能	初めて見た単語の意味を自分で考えることができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	発表(グループ発表含む)		10	20	10	-	40
	筆記試験		10	20	10	-	40
	レポート		10	-	10	-	20
	合計(点)		30	40	30	-	100
評価の特記事項							
テキスト	『Prism Reading Intro』Kate Adams, Sabina Ostrowska 著 Cambridge University Press(2,808円) ISBN:978-1108556187						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イントロダクションとガイダンス [準備・課題] 講義内容の復習 (1h)						
2	Self Introduction 自己紹介に使える様々な表現 [準備・課題] 講義内容の復習と自己紹介の練習問題 (1h)						
3	English pronunciation (1) L と R の発音の違い [準備・課題] 発音を復習し、他の困難な発音を自分で考える (1h)						
4	English pronunciation (2) TH と S の発音の違い [準備・課題] 発音を復習し、他の困難な発音を自分で考える (1h)						
5	English around the World 英語の国際性 [準備・課題] 講義内容の復習をし、英語の国際性について調べる (1h)						
6	English communication practice 英語のコミュニケーション能力の高め方 [準備・課題] 講義内容の復習をしながら、英語の作文の練習をする (1h)						
7	Bechdel Test and Feminism (1) ベクデルテストとは何か [準備・課題] フェミニズムについて調べる (1h)						
8	Bechdel Test and Feminism (2) 英語で、自分の社会的な役割を考えてみる [準備・課題] 女性として、自分の社会的な役割について調べてみる (1h)						
9	Expressing myself in English 英語で自分の意見を言う [準備・課題] 講義内容の復習をし、英語の様々な便利な表現を練習する (1h)						
10	Writing in English 英語の手紙やメールの書き方 [準備・課題] 講義内容の復習をし、英語でメールを書いてみる (1h)						
11	My English Resume 履歴書の書き方 [準備・課題] 英語で自分の履歴書を書いてみる (1h)						
12	English pronunciation (3) 様々な発音を練習する [準備・課題] 講義内容の復習として英語の発音の練習をする (1h)						
13	News in English 英語で最近のニュースを読んでみる [準備・課題] 英語で興味深いニュースを調べる (1h)						
14	Preparing a report in English (1) 英語で、自分の好みのテーマについて、レポートを書いてみる [準備・課題] 講義内容をまとめ、レポートのテーマを考える (1h)						
15	Preparing a report in English (2) レポートの作成と今までのまとめ [準備・課題] 講義内容をまとめ、レポートのテーマを考える (1h)						
時間外での学修	毎回、1時間ほどで完成できる宿題を出します。						
受講学生へのメッセージ	オフィスパワーは教室で、講義前後に行います。 質問、コメントなどがあれば、声をかけてください。						

【LV】外国語コミュニケーションⅡ		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	フェハリー フェリベ						
資格・制限等	幼教は卒業必修・歯科は選択必修						
実務家教員							
授業内容	日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、特に東海地方には多くの集住地域があります。ブラジルの文化、音楽や歴史などを勉強しながら、基礎的なポルトガルの会話を学びます。						
授業方法	ブラジル・ポルトガル語の発音に慣れ、基本的な挨拶表現と直説法現在形を用いた自己表現ができるようになります。						
到達目標	知識・理解	ブラジル・ポルトガル語の基本点を理解し、自分で簡単な文書を作ることができる。			◎		
	思考・判断・表現	日常的な会話によく使われる表現を使うことができる。			○		
	技能	日本語との比較をしながら、ブラジル・ポルトガル語の基本的な文法と語彙を身に付ける。			○		
	関心・意欲・態度	授業中、質問をし、ポルトガル語とブラジルの文化に関心を持てる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	-	-	50
	小テスト		10	-	20	-	30
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		40	20	20	20	100
評価の特記事項							
テキスト	『ブラジル・ポルトガル語を話そう！-Vamos falar português!-』重松由美 朝日出版社(2,484円)ISBN: 978-4-255-55501-0						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	自己紹介と挨拶の表現 [準備・課題] 言いたい情報を入れて自分の自己紹介をする (1h)						
2	アルファベットと発音 [準備・課題] 講義内容の復習をしながら、発音の練習をする (1h)						
3	名詞の性と数 [準備・課題] 講義内容で勉強した名詞を覚える (1h)						
4	冠詞と数字 [準備・課題] 講義内容の復習をし、自分で知りたい単語を調べる (1h)						
5	ser動詞 [準備・課題] 講義内容の練習として、英語の be 動詞とポルトガル語の ser 動詞を比べる (1h)						
6	人称代名詞と疑問文 [準備・課題] 友達に聞きたいことをポルトガル語の疑問文で考える (1h)						
7	形容詞の性と数 [準備・課題] 講義内容の復習として、ポルトガル語の単語の性と数を覚える (1h)						
8	所有形容詞と家族の紹介 [準備・課題] 講義内容の復習として自分の家族の紹介を書く (1h)						
9	指示代名詞とこれまでのまとめ [準備・課題] これまでの講義内容の復習をし、小テストの準備をする (1h)						
10	小テスト [準備・課題] ブラジルのクリスマスとお正月の伝統を調べる (1h)						
11	規則動詞 (1) [準備・課題] 講義内容の復習として、よく使う規則動詞を覚える (1h)						
12	前置詞 [準備・課題] ポルトガル語、英語と日本語の前置詞を比べる (1h)						
13	規則動詞 (2) [準備・課題] 講義内容の復習として、便利な規則動詞を覚える (1h)						
14	副詞 [準備・課題] 講義内容の復習をし、副詞の使い方を考える (1h)						
15	総復習 [準備・課題] 講義内容の復習をし、ポルトガル語で言えるようになりたいことを考える (1h)						
時間外での学修	毎回、1時間ほどで完成できる宿題を出します。						
受講学生へのメッセージ	オフィスアワーは教室で、講義前後に行います。質問、コメントなどがあれば、声をかけてください。						

【LV】国語表現(今井)		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	今井 美都子						
資格・制限等	歯科は選択必修						
実務家教員							
授業内容	国語力の基本は「聞く力」「話す力」「読解力」「書く力(表現力)」である。これらの4つの力を身につけるために、様々な実践をする。また、優れた文章(エッセイ、コラム、詩、物語等)を共に読み合いながら豊かな表現力の獲得へと誘う。社会人として役に立つ文章が作成できるように、基本的なスキルを伝授する。						
授業方法	講義と実技実践を織り交ぜて、授業展開する。例えば、図書館に行ってテーマに沿った選書をして互いに情報交換し合って知識を深める。発表を通して話す力、秀でた文章を読み合うことで、読む力と文章を味わうことの楽しさ、表現力を身につける等である。また優れた文を沢山読み、お手本にして手法を学ぶことを目指していく。						
到達目標	知識・理解	国語表現の基本的な用法、語彙についての知識・理解を深め、豊かな表現ができる。			◎		
	思考・判断・表現	自分の考えていることを、的確に論理的な文章を書くことができる。自分や他者の行動や意見を客観的な視点で表現し、思考を深めることができる。			◎		
	技能	社会人に必要な基本的な語彙の知識を持ち、社会生活に必要な実用的な文章を作成することができる。さらには専門科目で求められている論理的な文章を作成することができる。			○		
	関心・意欲・態度	他者との対話を大切にし、自分の思いを的確に伝えることができる。社会に目を向け、興味を持って意欲的に言葉で発信する。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		15	15	15	-	45
	発表		5	10	-	5	20
	小レポート		10	5	5	-	20
	受講態度		-	-	-	15	15
合計(点)		30	30	20	20	100	
評価の特記事項	定期試験は筆記試験をします。個人発表、小レポートも重視し、学習への意欲等を考慮し総合的に評価します。3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。						
テキスト							
参考書・教材	毎回、レジュメと資料を配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション 講義の内容と方法についての説明と課題図書を紹介 [準備・課題] 自己表現するための発表の準備 (3h)						
2	表現力を培う ①自分を見つめて、書いて伝える 自己PRする [準備・課題] 自分の書いた文章を確認し、訂正して清書する。他者の意見を聞いて再考する (4h)						
3	表現力を培う ②原稿用紙の使い方 原稿用紙に清書する [準備・課題] 完成原稿を見直して再考して、決定原稿を作成する (3h)						
4	表現を楽しむ ①言葉で遊ぶ 回文、しりとり、折句等のことば遊びを楽しむ [準備・課題] 図書館で調べる。折句、回文を作成してみる (3h)						
5	表現を楽しむ ②詩歌を楽しむ [準備・課題] 紹介したい詩歌を探す。各自が詩歌を書き写す。声に出して読む (4h)						
6	表現を楽しむ ③語りの手法を学ぶ [準備・課題] 図書館等で好きな「昔話」を選ぶ。「語り」の練習をする (3h)						
7	表現を楽しむ ④視点をかえて「昔話」を楽しむ 昔話を知ることの意義を考察する [準備・課題] 様々な昔話を読み比べて各自に合った話を紹介するための文章を書く (4h)						
8	表現を楽しむ ⑤エッセイ、コラムを読む [準備・課題] 各自、書きたいテーマを決めて実際にコラムを書いてみる (6h)						
9	読書とコミュニケーション ①テーマを決めてブックトークを楽しむ 基本のルール [準備・課題] 各自がテーマを決めて、ブックトークするための準備をする (5h)						
10	読書とコミュニケーション ②ブックトークを実演する [準備・課題] ブックトークを文章化してみる。何通りか提示してみる (5h)						
11	メディアリテラシーについて ①メディアって何? [準備・課題] 社会状況を把握して、現状を調べてまとめる (3h)						
12	メディアリテラシーについて ②メディアを読み解くということ [準備・課題] 今後の課題を提案する。ネット情報について考察する (3h)						
13	小論文、レポートの書き方 [準備・課題] テーマに沿って実際に文章作成する (5h)						
14	敬語の基礎知識 手紙の書き方(社会人としての手法) [準備・課題] 相手を想定して、実際に文章を作成する (3h)						
15	まとめ [準備・課題] 総合的なまとめと復習をして、提出レポートを再確認する (6h)						
時間外での学修	本校、各地域の図書館で、調べ学習をする。様々なジャンルの書籍に興味を持ち読書を楽しんでほしい。						
受講学生へのメッセージ	オフィスアワー：質問は授業後、教室で受け付けます。						

【LV】国語表現(鈴木)		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	鈴木 考育					
資格・制限等	歯科は選択必修					
実務家教員						
授業内容	社会人基礎力として、コミュニケーション能力の養成が声高く求められている現代において、正しいことばの使い方、自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えや感情を把握したりすることは、社会人・職業人としての肝要なことです。そこでこの授業では、文章表現における用字・用語の習得から表現技術を磨き、まずは基礎としての書き言葉を学んだ上で、社会生活で必要となる口頭表現を身につける学習を行います。様々な文章の書き方を学ぶとともに、自己紹介の情報を集め、自己PRが表現できるよう、就職試験にも直結する実践的な表現力を養成します。					
授業方法	講義と問題演習を合わせた形式の授業を次の流れで展開する。 1. 国語力涵養のための小テストの実施(確認・復習テスト) 2. 教科書に基づく講義(文章作成の基礎知識の修得) 3. 講義を踏まえた巻末問題演習(実践的鍛錬)					
到達目標	知識・理解	国語の語彙と用法についての知識・理解を深め、豊かな表現力を身につける。			◎	
	思考・判断・表現	確かな国語力を身につけ、課題や問題点を的確に捉え、思考を深めるとともに、自己を俯瞰して見ることで客観的な自己理解をすることができる。			◎	
	技能	社会人・職業人に必要な実用的な文章、並びに専門科目で求められる論理的な文章を理解する基礎知識を身につける。			○	
	関心・意欲・態度	思考と表現及びコミュニケーションの最も大切な基盤は国語力であると理解し、興味と関心をもって学修に取り組むことができる。			△	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	30	30	-	-	60
	確認・復習テスト	10	-	10	-	20
	受講態度	-	-	-	10	10
	提出物	-	-	10	-	10
	合計(点)	40	30	20	10	100
評価の特記事項	試験は、授業内及び定期試験に行います。受講態度は、学修への取り組み状況、課題の提出状況等から総合的に評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『すぐに役立つ国語表現 第3版』学術図書出版社(1,890円) ISBN:978-4-87361-752-7					
参考書・教材	必要に応じて授業中に指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	講義の内容と方法についての説明と、コミュニケーションツールとしてのことばの機能に関する概説 [準備・課題] 図書館などでことばの機能に関する文献を読み、理解を深める(3h)					
2	文章表現の基礎知識①-用字についての理解①(ローマ字・仮名) [仮名遣い・送り仮名] [準備・課題] 学修内容を復習し、仮名遣いについての正しい知識を演習を通じて確実に身につける(2h)					
3	文章表現の基礎知識②-用字についての理解②(漢字) [難読語・同音異義語・同訓異義語・類義語・相似形] [準備・課題] 学修内容を復習し、演習を通じて漢字の知識を増やす(5h)					
4	文章表現の基礎知識③-用語についての理解①(反対語・対照語・四字熟語) [準備・課題] 学修内容を復習し、演習を通じて特に四字熟語の知識を身につける(4h)					
5	文章表現の基礎知識④-用語についての理解②(諺・重複表現) [準備・課題] 学修内容を復習し、演習を通じて重複表現を避ける技術を確実に身につける(4h)					
6	文章表現の基礎知識⑤-用語についての理解③(慣用句・用語の心得) グループによる討議を行う [準備・課題] 学修内容の復習と演習を通じて受け手に思いやりのある表現を意識する癖を身につける(4h)					
7	文章表現技術の習得①-敬語表現法 [準備・課題] 指定した課題を解いてくことと学修内容の復習を通じて確かな敬語表現を身につける(4h)					
8	文章表現技術の習得②-文章の構成 [準備・課題] 学修内容をもとに、相手に内容が伝わりやすい論旨のよく通る文の順序を学ぶ(4h)					
9	文章表現技術の習得③-文章の要素・語法(文体の統一) 小グループによる確認・意見交換を行う [準備・課題] 指定した課題を解いてくことと学修内容の復習を通じて簡潔な文章表現の仕方を学ぶ(4h)					
10	文章表現技術の習得④-主語と述語、修飾語と被修飾語、句読点 [準備・課題] 学修内容の復習し、文の構造を正しく理解できるようにする(4h)					
11	文章表現技術の習得⑤-だらだら文、原稿用紙の使い方と実践 [準備・課題] 学修内容を復習し、原稿用紙の使い方まとめプリントを提出する(5h)					
12	文章表現技術の習得⑥-手紙文・はがきの書き方と実践 自分の作品を発表し合う [準備・課題] 時間内に完成しなかったはがきを完成させ提出する(5h)					
13	口頭表現の修得-話しことば [話しことばの特徴・話し方の基礎] ミニ・ディスカッションを行う [準備・課題] 学修内容をもとに、スピーチや、口頭発表ができるようにする(4h)					
14	就職等に必要書類の書き方と自己理解-履歴書・エントリーシートなど [準備・課題] 自己紹介のための情報収集をし、自分についてまとめる(4h)					
15	就職等に必要書類の実践-履歴書・エントリーシートの清書 [準備・課題] 志望動機・自己PR・大学で学んだこと等を中心に完成させられるよう準備をしてくる(4h)					
時間外での学修	毎回返却する確認・復習テストの間違ひ箇所をチェックし、基礎知識を培いましょう。[準備・課題] に示した事柄をきちんとこなしましょう。質問等があれば、研究室(B204:B号館2F)へどうぞ。					
受講学生へのメッセージ	コミュニケーション能力は、社会人基礎力の中心です。そして、国語表現は、それを使い人間関係を成立させる源です。豊かな人生を送るために、各自の国語表現力を磨くべく、積極的に授業に参加してください。オフィスアワー: 質問・相談事は授業の前後に対応しますので、気軽に声をかけてください。					

【LV】心理学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	茂木 七香						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	病院臨床心理士・6年、学生相談室臨床心理士・7年						
授業内容	私たちは毎日いろんなことを感じたり考えたりする経験を通して自分には心があるのだと知っています。でも、心はどのような仕組みでどんな働きなのかと聞かれると、目にも見えず不確かなものを感じます。この授業では人の心のしくみや働きについて学びます。それはあなた自身の心でもあるので、なるほど確かにそうだと実感しながら理解できる内容です。心理学の数多くの知見の中から、皆さんがこれからの大学生活や将来の人生を送る際に知っている役立つもの・面白いものを厳選しました。授業で得られた知識をさっそく自分や自分の周りの人々の言動に照らし合わせてみると、より深い学びにつながります。						
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題や自分自身についての振り返りの記述、グループワークなど、能動的な学び（アクティブラーニング）を前提とした方法も取り入れて授業を行います。4学科の受講生と協力し、交流しながら授業を進めていきます。						
到達目標	知識・理解	人と関わりを持ちながら生きる上で基盤となる心理学への理解を深め、知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	学修内容を現実生活と結びつけて考え、様々な場面で適切に対処するための思考力や判断力、表現力を培う。			○		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験(中間・期末)		30	10	-	-	40
	レポート		5	5	-	-	10
	授業時間内課題		-	5	10	5	20
	授業時間外課題		5	5	-	10	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	25	10	25	100	
評価の特記事項							
テキスト	教科書は指定しません。必要な教材は授業時に配付します。						
参考書・教材	参考図書などは授業中に適宜紹介します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イントロダクション：日常生活と心理学 心理学の歴史 脳と心の関係 [準備・課題] シラバスを読んで、一番興味を持った内容について書く (2~4h)						
2	感覚・知覚と記憶：知覚の不思議 錯覚 運動知覚 短期記憶と長期記憶 [準備・課題] 身の回りの「知覚の不思議」を探してみる (2~4h)						
3	学習①：知能 条件づけ 思考錯誤 学習の転移 (実験) [準備・課題] 学習転移の例を挙げる (2~4h)						
4	学習②：般化と分化 馴化 学習性無力感 観察学習 [準備・課題] 自分のこれまでの学習を振り返る (2~4h)						
5	発達①：生涯発達の視点 発達課題 胎児期~児童期 刻印付け 思考の発達 [準備・課題] 自分のこれまでの発達を振り返る (2~4h)						
6	発達②：青年期~老年期 死について [準備・課題] 中間テスト (1週目~6週目) の準備 (6~8h)						
7	中間試験と振り返り：1週目から6週目の中間試験 振り返りのグループワーク [準備・課題] 中間試験を振り返りこれまでに獲得した知識を確認する (2~4h)						
8	感情と性格：感情生起の中枢説と末梢説 類型論と特性論 性格検査 [準備・課題] 自分はどうような性格なのか考えてみる (2~4h)						
9	社会①：帰属理論 葛藤 ステレオタイプ 印象形成 [準備・課題] 自分の経験した「葛藤」のタイプを考えてみる (2~4h)						
10	社会②：対人魅力 社会的手ぬきと社会的促進 傍観者効果 同調 [準備・課題] 自分の経験した社会的手抜き・促進の例を書く (2~4h)						
11	身の回りの心理学：身の回りで起こる出来事や映画・アニメ・本の内容を心理学の知識や理論で説明する [準備・課題] 身の回りの心理学を見つけてみる (2~4h)						
12	臨床①：無意識の世界 葛藤 防衛機制 [準備・課題] テーマについてのレポートを期限までに作成する (6~8h)						
13	臨床②：自尊感情 自己理解 ストレス 心の病 カウンセリング [準備・課題] テーマについてのレポートを期限までに作成する (6~8h)						
14	グループワーク：レポート課題に基づく反転授業 グループワーク 既習内容の復習と確認 [準備・課題] これまでで分りにくかった内容とその理由を考えて書く (2~4h)						
15	まとめ：授業内容の振り返りとまとめ これまでの授業内容の理解度の確認と補足 [準備・課題] 期末試験 (7週目~15週目までの内容) の準備 (2~4h)						
時間外での学修	課題レベル：毎回課せられる授業時間外課題にしっかり取り組んでください。 日常生活レベル：授業で修得した心の仕組みや働きを、自分自身の持っている実際の心で感じてみてください。						
受講学生へのメッセージ	心理学は、自分の心を知るための学問でもあります。授業に来る時には「今日の私の心はどんな状態だろう」と、心を感じるアンテナをONにして来ててください。 オフィスアワーは毎週火曜日の10時~12時ですが、それ以外の時間でもA306(A号館3階)に気軽に来ててください。						

【LW】日本国憲法		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	大矢 武史						
資格・制限等	幼教は卒業必修、齒科は選択必修						
実務家教員							
授業内容	この講義は、第1部と第2部で構成される。第1部（第1講～第8講）では、憲法の意義や歴史、前文と基本原理、人権保障について学ぶ。第2部（第10講～第15講）では近代民主主義や政治のしくみ、平和主義について学ぶ。それにより、専門科目の土台となる法知識を習得するとともに、主権者として他者を尊重し責任ある行動をとることができる人間性を育む。						
授業方法	授業は、講義形式で行う。 第9講で中間試験を行い、第1部の理解度を確認する。						
到達目標	知識・理解	憲法の役割、基本原理、三権分立のしくみについて理解し、憲法が私たちの生活にどのように関わっているのかを説明できる。			◎		
	思考・判断・表現	人権の概念、歴史、現状について理解し、人権保障の役割について説明できる。また、国会、内閣、裁判所のしくみについて理解し、各機関の役割や特徴について説明できる。			◎		
	関心・意欲・態度	法学における専門用語や現代社会における人権問題および政治問題に関心を持ち、それらについて自発的に調べたり、憲法上の価値が現在の日本社会においてどのように実現されているのかを考えることができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		50	-	-	-	50
	直筆ノート作成		-	30	-	20	50
	合計(点)		50	30	-	20	100
評価の特記事項							
テキスト	『マンガでわかる日本国憲法』 木山泰嗣監修 池田書店 (1,458円) ISBN:978-4262154176						
参考書・教材	『スタンダード法学』 川端敏朗・松嶋隆弘編 芦書房 (2,700円) ISBN3:978-4755612947						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イントロダクション・憲法とはどのような法（ルール）なのか [準備・課題] 憲法と法律の違いについて調べ、理解しておく。(4h)						
2	憲法の歴史・憲法や人権といった概念はいつ、どのようにして誕生したのか [準備・課題] 市民革命と人権の歴史との関わりについて調べ、理解しておく。(4h)						
3	日本国憲法の基本原理・憲法の前文には何が書いてあるのか [準備・課題] 日本国憲法前文で示されている4つの基本原理について調べ、理解しておく。(4h)						
4	基本的人権の保障・人権にはどんな種類があるのか [準備・課題] 基本的人権の3つの性質について調べ、理解しておく。(4h)						
5	平等権・許される差別と許されない差別の違いは何か [準備・課題] 絶対的平等と相対的平等との違いについて調べ、理解しておく。(4h)						
6	自由権・一人ひとりがあるままに自分らしく生きるために必要なものは何か [準備・課題] 自由権の概念および自由権の分類について調べ、理解しておく。(4h)						
7	社会権・人間らしい生活を営むために必要なものは何か [準備・課題] 社会権に含まれる権利にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(4h)						
8	新しい人権・プライバシーや髪型の自由は権利として保障されるのか [準備・課題] 新しい人権にはどのような権利があるのか調べ、理解しておく。(4h)						
9	中間試験・第1部（第1講～第8講まで）の理解度は？ [準備・課題] 授業ノートを活用して第8講までの内容を復習しておく。(6h)						
10	政治のしくみ・選挙に行くことは権利なのか義務なのか [準備・課題] 三権分立とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(4h)						
11	国会のしくみ・なぜ日本の国会では二院制（衆議院、参議院）が採用されているのか [準備・課題] 衆議院と参議院のそれぞれの特徴について調べ、理解しておく。(4h)						
12	内閣のしくみ・なぜ日本では国民が政治のリーダー（内閣総理大臣）を選挙で直接選べないのか [準備・課題] 議院内閣制と大統領制のそれぞれのメリット・デメリットを調べ、理解しておく。(4h)						
13	裁判所のしくみ・なぜ裁判官は国会で民主的に制定された法律の規定を無効とすることができるのか [準備・課題] 法令審査権とはどのような権限なのか調べ、理解しておく。(4h)						
14	憲法9条と安全保障・なぜ憲法9条の改正が叫ばれているのか [準備・課題] 安保法の成立により自衛隊の活動がどのように変わったのか調べ、理解しておく。(6h)						
15	講義のまとめ・憲法に定められている国民の責務は？ [準備・課題] 国民の義務にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(4h)						
時間外での学修	講義後に教科書や配付資料を参考にしつつ講義ノートを作成し、学習内容の理解を深めること。						
受講学生へのメッセージ	新聞やニュースで取り上げられる法律問題について考える努力を払ってください。 他の受講生に迷惑をかける行為（私語、電話、ゲーム、飲食など）は厳禁です。 受講マナーを守り、他の受講生とともに学び・成長する意思をもってがんばりましょう。 オフィスアワー：授業に関する質問や相談については、授業の前後に授業教室で対応します。						

【LW】女性学		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	茂木 七香						
資格・制限等	歯科は選択必修						
実務家教員	茂木：病院臨床心理士6年・学生相談室臨床心理士7年 石川：大学病院歯科医師20年 名和：保育所保育士9年 宮川：グラフィックデザイン事務所17年 菅田：音楽療法関連公的機関勤務5年						
授業内容	あなたの性別は何ですか？大垣「女子」短期大学に入学されたみなさんの性別は周囲からは女性として捉えられていますが、あなた自身は「自分の人生が女性という属性とともに在る」ということを日頃どれくらい意識して過ごしているのでしょうか。この授業では女性をテーマとしてその特性を学び、現代社会での女性の生き方を考えます。主担当講師（茂木）の心理学的な視点を基盤にしながらも、各専門分野のゲスト講師を招き、女性の身体的特徴や社会や文化の中での位置づけなどを多様な視点から学びます。みなさんがこの先の人生を女性という性別を持ちながらどのように生きていくか、その道案内となる授業です。						
授業方法	基本的には講義形式ですが、課題に取り組んだり、自分自身について振り返って記述したり、グループワークをしたりと、受講生の能動的な学び（アクティブラーニング）を前提とした方法も取り入れて授業を行います。						
到達目標	知識・理解	本授業の内容を理解し、これから生きていく上で基盤となる女性に関する知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	授業で取り扱われた話題について適切に判断し、自らと結び付けた思考や表現をしようとする。			◎		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(中間・最終)		20	10	-	-	30
	授業時間内課題		-	10	10	10	30
	授業時間外課題		10	10	-	10	30
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		30	30	10	30	100	
評価の特記事項	授業時間内課題とは、授業中に記入するワークシートや、毎回授業終了時に提出するミニツツペーパーのことです。						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イントロダクション（総合教育センター・茂木七香）： 女性学とは 性別の決定 性別のステレオタイプ 性自認 [準備・課題] シラバスを読んで興味のある回について書く（2～4h）						
2	性役割について（茂木）：性役割の背景とその形成過程 グループワーク [準備・課題] 自分自身の性役割の形成について振り返る（2～4h）						
3	女性と歯科（歯科衛生学科・石川隆義）： 歯の成長から見た妊娠から出産まで、女性ホルモンと歯周病の関係、若年女性の摂食障害と酸蝕症、等 [準備・課題] 歯科的観点からみた女性について学んだことをまとめ、中間レポートを完成させる（3～4h）						
4	教育とジェンダー（茂木）： かくれたカリキュラム 性別カテゴリー 家庭科の男女共修 「女性と歯科」レポート交流 [準備・課題] 自分の小中高時代を思い出し、かくれたカリキュラムについて振り返る（2～4h）						
5	子育てにおける女性の役割（幼児教育学科・名和孝浩）： 女性を取り巻く子育ての現状と動向 子育てと仕事の両立 [準備・課題] 近年の女性のライフスタイルについて調べる（2～4h）						
6	性別の受容と性的指向（茂木）：思春期の身体の変化とその受容 [準備・課題] 今日の授業の内容について、自分の考えを振り返ってみる（2～4h）						
7	女性と社会参加（キャリアコンサルタント・中川久枝）： 女性が社会の中で自分らしく輝いているために大切なことを、一緒に考えてみる [準備・課題] 卒業したらどんな社会人になりたいか、自分のイメージをまとめてみる（2～4h）						
8	女性のキャリア発達（茂木）：ライフキャリアレインボー ライフワークバランス [準備・課題] 今の自分の人生を、ライフキャリアレインボーの中で確認する（2～4h）						
9	女性の人権の歴史（女性史研究者、元大垣市男女共同参画推進協議会会長・度会さち子）：祖母・母・娘の時代に見る女性と家・労働・学び・戦争 ～女性の人権の歴史はどのように変化してきたか～ [準備・課題] 課題についてのワークシートを記入してくる（2～4h）						
10	男女共同参画社会（度会さち子）：男女共同参画社会づくりの歴史 ～労働・政治・家庭～ [準備・課題] 課題についてのワークシートを記入してくる（2～4h）						
11	グループワーク（茂木）：課題について作成したワークシートをもとにしたグループワーク [準備・課題] グループワークについて振り返る（2～4h）						
12	女性とデザイン（デザイン美術学科・宮川友子）：女性デザイナーの人物と作品の紹介 [準備・課題] 女性デザイナーやアーティストとその作品について調べる（2～4h）						
13	LGBTについて（茂木）：LGBTとは 当事者の声から 本や動画で理解する [準備・課題] LGBTに関連する話題をネットや新聞・本などで調べてみる（2～4h）						
14	音楽と女性（音楽総合学科・菅田文子）： 音楽聴取時の感情判別能力 女性ホルモンと創造性 女性の音楽家 [準備・課題] 自分の好きな女性のアーティストについて書く（2～4h）						
15	まとめ（茂木） [準備・課題] 今までの授業からテーマを選び、最終レポートを書く（6～8h）						

時間外での学修	課題レベル：毎回配られる授業時間外課題にしっかり取り組んでください。 日常生活レベル：授業で修得したテーマについて、世の中でどのように取り上げられているか、あらためて意識してみてください。
受講学生へのメッセージ	授業で扱われるのはみなさんにとって身近なテーマですが、それらについて深く考えたり、色々な人の話を聞いたりする機会はあまりないものです。この授業で与えられるさまざまな機会を有効に使ってください。オフィスアワーは毎週火曜日の10時～12時、A306(A号館3階) に気軽になんでも話しに来てください。

【LW】地域の歴史と文化		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	小川 敏雄						
資格・制限等	歯科は選択必修						
実務家教員							
授業内容	<p>本学が所在する岐阜県の歴史や文化には、地域的な特色がある。たとえば、東西通行の要衝にあり低湿地帯でもある西濃には、中央政権の争いの場となったり水との戦いが繰り広げられたりした歴史があり、県都岐阜には、美濃の中央という地理的な特色から、美濃支配の中心地となる歴史があった。東濃には名家が発祥した歴史、郡上・白川郷筋には信仰に関わりの深い歴史、飛騨には森林資源や木工技術者との関わりから中央政権の直接支配を受けた歴史があった。こうした地域の特色を、代表的な歴史事象を通して理解していく。</p>						
授業方法	歴史事象を今に伝える史料、史跡や文化財の写真、現在地を示す地図等をパワーポイントで紹介しながら授業を進める。						
到達目標	知識・理解	地域の歴史や文化について基本的な内容を理解することができる。			◎		
	思考・判断・表現	地域の歴史や文化が、地域の地形や地理的位置等自然環境とどのように関わりながら形成されてきたかを考えたり、判断したり、表現したりすることができる。			○		
	技能	地域の歴史や文化の特色について、地図や写真、年表等を使って説明することができる。			△		
	関心・意欲・態度	地域の歴史や文化に関心を持ち、積極的に調べたり、考えたりして学修に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	毎時間のミニテスト		30	20	-	10	60
	受講態度		-	5	5	30	40
	合計(点)		30	25	5	40	100
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度は、真剣に聞いているか、しっかり発言するか、遅刻や早退はないかなどで評価する。 ・欠席（公欠は除く）はマイナス点とする。 ・3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。 						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	<p>「岐阜県の歴史の地域的な特色」 郷土岐阜県には、地域的な歴史や文化の特色があり、西濃、東濃、岐阜、郡上・白川郷筋、飛騨等の特色を概括する。 [準備・課題] 本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(3h)</p>						
2	<p>「西濃の歴史 壬申の乱と不破関」 畿内からの出口という地形的な特徴が壬申の乱の舞台となり、また、そうした特徴によって不破関が置かれた。 [準備・課題] 壬申の乱と不破関について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
3	<p>「西濃の歴史 美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂」 畿内からの出口に近い西濃には、美濃国府や国分寺等重要な施設が置かれ、美濃国の中心地であった。 8世紀前半、長年にわたって美濃守を務め、国府にあった笠朝臣麻呂は、美濃国の発展に寄与した。 [準備・課題] 美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
4	<p>「西濃の歴史 関ヶ原の戦い」 東西通行の喉元に当たる関ヶ原は、石田三成と徳川家康が雌雄を決する合戦の場となった。 [準備・課題] 関ヶ原の戦いについて予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
5	<p>「西濃の歴史 大垣城と戸田氏」 東西通行の要地であり低湿地帯でもある大垣に配された譜代大名戸田氏は、治水や文教等特色ある藩政を行うとともに、幕政にも大いに貢献して、230年余の治世を全うした。 [準備・課題] 大垣城と戸田氏について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
6	<p>「西濃の歴史 宝暦治水と明治の三川分流工事」 木曾・長良・揖斐の三川が合流し水害に悩まされた西南濃では、三川の分流が最大の課題であり、宝暦や明治期にその大工事がなされた。 [準備・課題] 宝暦治水と明治の三川分流工事について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						
7	<p>「東濃の歴史 東濃の雄・遠山氏の発祥」 鎌倉時代、岩村の地に発祥した遠山氏は、戦国時代には全盛期を迎えて東濃一帯に勢力を張った。 [準備・課題] 遠山氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
8	<p>「東濃の歴史 美濃の雄・土岐氏の発祥」 鎌倉時代、土岐郡に発祥した土岐氏は、美濃国守護となり厚見郡に移って、室町時代の美濃を支配した。 [準備・課題] 土岐氏について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>						
9	<p>「岐阜の歴史 土岐氏の変遷」 厚見郡に移った美濃国守護の土岐氏は、長森から革手、福光、枝広、大桑等へ府城を移しながら、200年以上にわたってその地位を保ち続けた。 [準備・課題] 8・9回の学修を復習し、土岐氏の変遷についてまとめる。(8h)</p>						
10	<p>「岐阜の歴史 斎藤道三と織田信長」 土岐氏を追いやって美濃国主となった斎藤道三は、稲葉山城を本拠とし館や城下町を築いて、この地を美濃の中心地とした。道三の孫の代にこの城を攻略して岐阜城と改めた織田信長は、壮麗な館や城下町を整えて、天下統一の足場とした。 [準備・課題] 斎藤道三と織田信長について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>						

内容	
実施回	授業内容・目標
11	<p>「岐阜の歴史 美濃代官役所の変遷」 関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城が落城し、合戦後は、岐阜町に美濃国奉行所が置かれて、美濃国内に多く設けられた幕府直轄地の支配がなされた。以後、この役所は可兒、揖斐、笠松へと転遷し、明治期に岐阜県庁となって今日に繋がる。 [準備・課題]美濃代官役所の変遷について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
12	<p>「白鳥・白川郷筋の歴史 白山信仰と浄土真宗」 霊峰白山への登拝口・白鳥は白山信仰の拠点となり、そこから越中につながる白川郷は、その後、浄土真宗隆盛の地となった。 [準備・課題]白山信仰と白川郷の浄土真宗について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
13	<p>「飛騨の歴史 両面宿儺と飛騨匠」 両面宿儺が治めていたとされる飛騨も、大和政権下に入ると、匠を輩出する国として重視され、国家の強い支配を受ける。 [準備・課題]両面宿儺と飛騨匠について予習し、予備知識を得てくる。(3h)</p>
14	<p>「飛騨の歴史 飛騨の統一と高山町の形成」 姉小路氏や江馬氏との抗争を経て三木氏が統一した飛騨も、豊臣秀吉の命を受けた金森氏の手に移り、金森氏は高山城や高山町の形成に努めた。 [準備・課題]飛騨の統一と金森氏の飛騨攻略について予習し、予備知識を得てくる。(4h)</p>
15	<p>「飛騨の歴史 天領と高山陣屋」 一国が幕府直轄地(天領)とされた飛騨には、代官所(高山陣屋)が置かれ、代官や郡代による統治がなされたが、大原騒動・梅村騒動等の大騒動も起きた。 [準備・課題]天領飛騨と高山陣屋について予習し、予備知識を得てくるとともに、全時間の学修を振り返り、岐阜県の歴史の地域的な特色をまとめる。(5h～8h)</p>
時間外での学修	<p>授業ごとに次回の授業内容を知らせるため、インターネット等で予備知識を得てくること。また、授業では、史跡や文化財の所在地等を示すため、見学に出かけるなど立体的な学修を進めたい。</p>
受講学生へのメッセージ	<p>それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史があり、その歴史が今日の地域社会を築き上げている。そうした歴史のロマンを感じるような学修にしよう。 オフィスアワーは、毎週水曜日の授業後10:30～11:30、場所は非常勤講師控室です。</p>

【LX】生活環境論		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	矢田貝 真一					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業内容	地球の環境問題について、このままではこれからの人間生活に大きな影響をおよぼすことが確実で、その解決は一つの国だけではできない広域の問題だといわれています。また環境に大きな影響を与えているのは、一人一人の生活のあり方であるとも考えられています。この授業では、どのような環境問題があり、その原因は何なのかを理解し、それらと私たちの生活がどのように結びついているのかをつかみ、問題の解決に向けて何が必要なかを考えていきます。					
授業方法	講義を中心として、環境に対する認識を深め、考えたことなどを発表する活動なども含めて授業を展開する予定です。					
到達目標	知識・理解	地球環境と人間の生活の変化、それらに起因する課題について、関連する基本的な知識を理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	地球環境を人間の生活を結びつけながら考え、課題や問題点の原因をあげて解決の方策やそれにつながる取組などを示すことができる。			○	
	技能	関連する資料から地球環境と生活に関連する課題の現状などの指摘や説明ができる。			○	
	関心・意欲・態度	地球環境と生活を結びつけながら、それらに関する課題に関心を持ち、積極的に考えようと努力して学修に取り組むことができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	40	10	10	-	60
	発表・レポート	5	5	5	5	20
	自己評価	5	5	-	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	20	15	15	100
評価の特記事項	自己評価は学修成果に対する自己の評価、受講態度は学修取組・発表・提出等の状況とします。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、生活と環境を考える（授業の目標や学ぶ内容の概要を理解し、環境問題に関する自己の理解や捉え方を再確認して関心を高める） [準備・課題] これまで学んだことのある環境問題とその原因等について簡単にまとめる（3h）					
2	地球の環境問題を考える（地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・森林破壊・生物種減少・砂漠化・海洋汚染などの概要と地球の歴史やシステムについて理解し、環境問題の現状を把握する） [準備・課題] 学んだ内容を復習する（3～6h）					
3	オゾン層の破壊を考える（オゾン層について、地球上で果たす役割や破壊される原因、破壊による問題などを理解し、防止に向けて必要なことを考える） [準備・課題] 学んだ内容を復習し、防止する取組を調べてまとめる（3～6h）					
4	酸性雨を考える（酸性雨について、その原因とメカニズム、世界とわが国の現状と課題、防止に向けた取組などを理解し、身近な地域の状況に関心を持つ） [準備・課題] 学んだ内容を復習し、自分の居住する地域の現状を調べてまとめる（3～6h）					
5	地球温暖化を考える(1)（地球温暖化について、その現状と問題、原因とメカニズムなどを理解する） [準備・課題] 学んだ内容を復習し、温暖化に関する報道等を調べてまとめる（3～6h）					
6	地球温暖化を考える(2)（授業外の課題も参考にしながら、温暖化について、気候変動の概要、温暖化に関する将来予測、防止する手だてなどを理解し、自分なりの意見をまとめる） [準備・課題] 学んだ内容を復習し、温暖化や防止の手だてに関する自分なりの考えをまとめる（3～6h）					
7	その他の環境問題を考える（森林破壊・生物種の減少・砂漠化・海洋汚染などの原因と深刻な現状などについて理解を深める） [準備・課題] 前半で学んだ内容を復習する・関心を持った問題について調べてまとめる（4h）					
8	地球の環境問題についてのまとめに向けて（これまで学んできた内容を振り返りながら、レポートの役割と作成方法、環境問題に関するレポートの目的、ルーブリックなどについて再確認して理解し、今後のまとめに活用できるようになる） [準備・課題] 学んだ内容について復習し、取り上げる問題についてさらにしっかりとまとめておく（5h）					
9	地球の環境問題についてのまとめ（課題として考えてきたことをもとに、環境問題のうち最も興味や関心を持った問題について、現象や原因、影響、防止する手だてなどを確実にまとめることができる） [準備・課題] 学んだ内容をしっかりとまとめ、各自で調べるなどしてレポートを自己評価とともに完成させる（3～6h）					
10	環境問題を生活と結びつけて考える(1)（身近な生活と環境問題の結びつきを考えていくために、生活の進歩と環境問題とのつながりについて理解する） [準備・課題] 学んだ内容をもとに身近な日常生活と地球の環境問題を結びつけて考え、結果をまとめる（4h）					
11	環境問題を生活と結びつけて考える(2)（まとめてきた課題を出し合って、生活と結びつくエネルギー問題、再生可能エネルギーの現状について理解を深め、エネルギー問題の解決に向けて自分なりの意見を考える） [準備・課題] 学んだ内容をもとに、これからどのようなエネルギー源の開発に力を入れていくべきか、理由や見通しとともに自分の考えをまとめる（4h）					
12	環境問題を生活と結びつけて考える(3)（授業外の課題も参考にしながら、エネルギーの現状や考え方について理解をさらに深め、将来について考えるようとする） [準備・課題] 学んだ内容を復習し、感想と質問をまとめる（3～5h）					

内容	
実施回	授業内容・目標
13	生活環境に関連した課題を考える（子供をめぐる環境や食をめぐる課題など、生活と直接関連するその他の課題について理解を深める） [準備・課題] 学んだ内容の復習し、他にどのような生活と関連した環境の課題があるかを考えてまとめる（3h）
14	過去の日本人が示した環境問題解決のヒントについて考える（江戸時代の生活から循環型社会に関する知識を深め、そこから学べることについて理解を深める） [準備・課題] 環境問題やエネルギー問題の解決策や保全に向けた生活の工夫を考えてまとめ、発表の準備をする（8～10h）
15	まとめと発表（これまでの授業外での課題も活用しながら、総合的なまとめを行い、環境問題やエネルギー問題等の解決に向けた対策や生活での工夫などについて、考えてきたことを発表できる） [準備・課題] 授業で学んだ全体の内容について振り返り、総合的なまとめを行う（9～11h）
時間外での学修	[準備・課題]は、授業の到達目標を達成するために必要となる内容ですので、（ ）の標準学修時間をめどにして、確実に学修を進めましょう。
受講学生へのメッセージ	世界的視野に立ちながらも身近なところとつながる環境の問題について考え、各自の生活や行動と結び付けながら積極的に授業に参画してください。 オフィスアワーはA305(A号館3F)で毎週木曜日の16：00から17：00です。質問等があれば来てください。

【LX】 暮らしの科学(物理・化学)		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	額 額 守						
資格・制限等	歯科は選択必修						
実務家教員	機能性食品素材開発企業研究員・10年						
授業内容	私たちの暮らしのまわりには科学が関わる様々な現象や製品に満ち溢れています。たとえば、ドライクリーニングは石油系溶剤で洗うので油汚れや皮脂汚れに効果的、一方、汗やジュースの汚れは家庭用洗濯機で水洗いが効果的。お風呂とトイレの洗剤を両方使うともっときれいになるかと思って使ったら毒ガスが発生して亡くなった主婦のお話。水のこと、うまみ成分、プラスチックなどすべて科学が関わっています。本講義ではご自身の実生活で起こる身近な事例をとりあげ卒業後も役立つ身のまわりの「暮らしの科学」の基礎知識を理解していきます。講義中に知識の整理と確認のための小テストも行います。						
授業方法	講義、ディスカッション、調査・発表など。						
到達目標	知識・理解	社会人として生活に役立つ暮らしの科学の基本的概念を理解する			◎		
	思考・判断・表現	暮らしの科学に関して習得し理解した知識を日常生活と結びつけ科学的・総合的判断力を養う			◎		
	関心・意欲・態度	科学と日常生活との関わりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学修に取り組むことができる			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	-	-	50
	発表(グループ発表含む)		-	10	-	10	20
	レポート		-	10	-	-	10
	小テスト		10	-	-	-	10
	自己評価		-	-	-	10	10
合計(点)		40	40	-	20	100	
評価の特記事項	テキスト						
参考書・教材	自作の資料を全員に毎回配布します。 必要に応じて以下の参考書などを購読してください。 『身の回りから見た化学の基礎』芝原寛泰、後藤景子著 化学同人(1,944円) ISBN:978-4-7598-1292-3 『商品から学ぶ化学の基礎』松田勝彦著 化学同人(1,944円) ISBN:978-4-7598-1436-1						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	金属の特徴を知ろう(1) 貴金属(金、銀) 地球上にある物質をまとめた周期表、いろいろな元素について学んでみよう。最初は貴金属(金、銀)から。憧れの貴金属の特徴を知ろう [準備・課題]身近な貴金属とその利用の現状をまとめる(4h)						
2	金属の特徴を知ろう(2) 金属(白金、鉄) 憧れのプラチナ(白金)や鉄の特徴を知ろう [準備・課題]白金や鉄の利用の現状をまとめる(4h)						
3	金属の特徴を知ろう(3) 重金属、必須微量元素 4大公害病など重金属の毒性や体に重要な必須微量元素の重要性について学ぼう [準備・課題]毒性のある重金属の所在を調査する。必須微量元素はどんな食品から摂取できるかまとめる(3h)						
4	科学の基礎知識で料理上手になろう(1) 水、味覚、香り 水の特徴や種類、性質を学ぶ。味と香りは料理の重要な要素、どんな物質がそれらの性質を示しているか理解する [準備・課題]人間にとって欠かせない水の特性と性質についてまとめる。料理で重要な味や香りに関して物質レベルで理解する(4h)						
5	科学の基礎知識で料理上手になろう(2) 香料、化粧品 食品や日用品に使われている香料について学ぶ。化粧品の種類やその役割、成分や効果などについて理解する [準備・課題]香料及び女性にとって欠かせない化粧品の特性と性質についてまとめ、成分や効果に関して物質レベルで理解する(5h)						
6	科学の基礎知識で料理上手になろう(3) 5大栄養素、炭水化物、脂質 5大栄養素、炭水化物、脂質について理解する [準備・課題]5大栄養素、炭水化物、脂質について学んだことを復習する(4h)						
7	科学の基礎知識で料理上手になろう(4) トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味 トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味についてその特徴を理解する [準備・課題]トランス脂肪酸、たんぱく質、ミネラル、うま味について学んだことを復習する(5h)						
8	科学の基礎知識で料理上手になろう(5) 発酵1 発酵とは? 味噌、醤油、みりん、漬物、ヨーグルト、チーズ、アルコール、ワイン、日本酒など発酵食品の種類、製法や発酵の過程について学ぶ [準備・課題]日本古来の発酵食品や発酵乳製品など発酵食品の種類や特徴について学んだことを整理する(4h)						
9	科学の基礎知識で料理上手になろう(6) 発酵2 アルコールの作り方を解説。ウイスキー、アルコール代謝、酢酸、パン、なれずし、納豆の製法やそれらの発酵過程について学ぶ [準備・課題]アルコールをはじめとした発酵プロセスや代謝などについて学んだことを整理する(4h)						
10	科学の基礎知識で料理上手になろう(7) 物質の状態変化、浸透圧 調理の際に用いる調理法は物質の状態変化。圧力鍋、浸透圧など化学現象を理解し調理に役立てる知恵を獲得する [準備・課題]調理と物質の状態変化の関係について復習する(5h)						
11	科学が関わる被服関連の知識を獲得しよう(1) 繊維、洗濯表示マーク 衣服に使われている繊維の種類と特徴、洗濯表示マークについて学ぶ [準備・課題]身の回りの衣服に使われている繊維の種類や取り扱い方法などをラベル表示などから整理し理解する(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
12	科学が関わる被服関連の知識を獲得しよう (2) 石けん、界面活性剤、ドライクリーニング 洗濯の際に用いる石けんの役割、洗髪の際のシャンプーなど界面活性剤、ドライクリーニングの特徴やそれら洗浄方法の上手な使い分け方について理解する [準備・課題]石けんをはじめとした界面活性剤やクリーニングの基礎知識について整理する(5h)
13	エネルギー (1) 炭素資源、石油、プラスチック 人類のエネルギー供給源である化石燃料について学ぶ。プラスチックの原料など石油の重要度と応用実態を把握する [準備・課題]限りある炭素資源 (化石燃料) の実情と課題や今後の予測について整理する。石油由来のナフサから製造されているプラスチックについて種類や特徴について整理し理解する(4h)
14	エネルギー (2) 自然エネルギー 太陽光を利用したソーラーセルや風力発電など自然エネルギーについて学ぶ [準備・課題]太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など自然エネルギーの実情と課題や今後の予測について整理する(4h)
15	エネルギー (3) 電池 電池の開発の歴史、電池の種類 (マンガン電池、ニカド電池、リチウムイオン電池、燃料電池など)、製法と特徴を理解し日常生活で上手に使い分ける方法を理解する [準備・課題]スマホなど身の回りにある電池について調べ、整理し理解する(4h)
時間外での学修	理系科目は嫌い、「化学や物理」は記号が多くておぼえることが多いので嫌い、わからない、難しいといった印象を持っている人が多いかもしれません。日常生活の中で、「化学や物理」がどのように関わっているか、意識してみましょう。食品、洗剤など日用品についている成分表なども注意して見てみると面白いですよ。実は皆さんはスマホの充電電池や化粧品など様々な「化学や物理が関わる」製品に毎日接していてその恩恵を預かっています。
受講学生へのメッセージ	「くらしにかかわる科学」の世界と一緒に覗いてみましょう。この講義では、記号や反応式、数式をただ暗記するのではなくみなさんにとって日々の生活に直接関係するお話をいっぱいします。「スマホの充電電池はこうなっているのか。」「毎日食べる食材から私の体はできてるんだ。」などの内容です。質問などは講義前後に直接、あるいは、電子メールアドレス (koketsu@gifu-u.ac.jp) にてしてください。

【LX】基礎生物		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	西川 将司						
資格・制限等	歯科は卒業必修						
実務家教員							
授業内容	生物についての知識を深めることは、ヒトを含めた生命体の仕組みを理解することに繋がります。この授業では、生物が個体と種を維持するために必要となる基本的な構造や機能について学び、ヒトの生活と生命現象の関わりについて考察を深めます。						
授業方法	講義，討論						
到達目標	知識・理解	基礎生物学を理解し、生物学的視野を広める。			◎		
	思考・判断・表現	生命の根底にある共通性を理解し、それに対して考察できる。			○		
	技能	基礎的知見から、応用に結びつけて考える技能を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	生物学に関心を持ち、主体的に学習に取り込む。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	20	-	70
	自己評価		-	-	-	30	30
	合計(点)		30	20	20	30	100
評価の特記事項							
テキスト	『やさしい基礎生物学 第2版』南雲 保／編著，今井一志，大島海一，鈴木秀和，田中次郎／著 羊土社 (3,132円) ISBN:978-4-7581-2051-7						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス [準備・課題] 高校の教科書を復習する (4h)						
2	細胞の構造と生命の誕生について理解する。 [準備・課題] テキスト第1章を復習する (4h)						
3	生命体を構成する物質について理解する。 [準備・課題] テキスト第2章を復習する (4h)						
4	遺伝子の構造と機能について理解する。 [準備・課題] テキスト第3章を復習する (4h)						
5	代謝について理解する。 [準備・課題] テキスト第4章を復習する (4h)						
6	光合成と窒素同化について理解する。 [準備・課題] テキスト第5章を復習する (4h)						
7	細胞の分裂、情報伝達、がんについて理解する。 [準備・課題] テキスト第6章を復習する (4h)						
8	受精と成長について理解する。 [準備・課題] テキスト第7章を復習する (4h)						
9	多細胞生物の自己維持機構について理解する (ホメオスタシス)。 [準備・課題] テキスト第8章114-130ページを復習する (4h)						
10	多細胞生物の自己維持機構について理解する (免疫)。 [準備・課題] テキスト第8章130-138ページを復習する (4h)						
11	遺伝のしくみと遺伝病について理解する。 [準備・課題] テキスト第9章を復習する (4h)						
12	生物と環境がつくる生態系について理解する。 [準備・課題] テキスト第10章を復習する (4h)						
13	生物の進化と多様性について理解する。 [準備・課題] テキスト第11章を復習する (4h)						
14	生命科学技術と社会の関わりについて理解する。 [準備・課題] テキスト第12章を復習する (4h)						
15	これまでの講義のまとめ [準備・課題] テキスト全ページを復習する (4h)						
時間外での学修	[準備・課題]は授業の到達目標を達成するために必要となる内容ですので、()の標準学修時間をめどとして確実に学修しましょう。						
受講学生へのメッセージ	オフィスアワーは講義終了後、教室にて行います。						

【LY】子育て入門(デ美・音楽・歯科)		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	川村 弘子						
資格・制限等	歯科は選択必修						
実務家教員	幼稚園教諭・38年						
授業内容	子どもの将来の健やかな成長や発達の基礎は、子どもの養育にあたる母親や保育者達が子どもの「育つ力」を信じて笑顔で寄り添い、子ども時代に「本当の子どもの生活を楽しむ」ことにあります。子どもを信じ、子どもと関わる中で愛着関係を築き、生き生きと子育てを楽しむための基礎作りを図ります。						
授業方法	講義を中心にしながら、ビデオ視聴や演習、子育てに必要な絵本や遊びの提供、グループディスカッションを通して自身の幼少期を振り返り、学生同士の意見交換も行います。						
到達目標	知識・理解	子どもを育てる基盤となる内容の理解を深め、必要な知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	時代の変化や様々な価値観のある中で、子どもの養育や保育にあたる立場としての在り方、生き方及び子どもを育てるための柔軟な対応の仕方を理解し、子育ての基礎を身につけることができる。			○		
	技能	子育てに携わる立場としての必要な社会生活の基本や、コミュニケーション能力を身につけることができる。			○		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しを持って主体的かつ意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	-	-	-	30
	授業ごとの振り返り		10	10	-	10	30
	発表・レポート		-	-	5	5	10
	受講態度		-	10	10	10	30
	合計(点)		40	20	15	25	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は、定期試験の受験資格がありません。						
テキスト	受講時にプリントを配布します。						
参考書・教材	『0・1・2歳児の心の育ちと保育』・『0歳児から5歳児 行動の意味とその対応』小学館 『遊びこそ豊かな学び』・『はじめての子育て 育ちのきほん』ひとなる書房 『子どもの発達と保育の本』学研 『乳児保育』青踏社						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス「子育て・子育ての理解を深めながら、子どもの素晴らしさを知る」 自分自身の子ども時代を振り返りながら「自分育ち」を見つめ直し、自己理解から入る [準備・課題] 母親へのアンケートを通して自身の育ちについて理解を深める(4h)						
2	親子の絆① いろいろな事例を通して、親子の絆について理解を深める [準備・課題] 配布された資料をもとに復習し、関連した文献にふれること(4h)						
3	親子の絆② いろいろな事例を通して、より深い子ども理解に繋げる(DVD視聴) [準備・課題] 学修した内容を復習し、関連した文献にふれること 近年の子育てに関する問題について情報を収集する(4h)						
4	子育てをめぐる親の意識と現状について [準備・課題] 学修した内容を復習し、関連した文献にふれること(4h)						
5	乳児の理解と接し方① 0～5か月頃 応答的なかわりについて [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習し、次回の授業内容に繋げる(4h)						
6	乳児の理解と接し方② 6～11か月頃 発達を促すかわりについて [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習し、次回の授業内容に繋げる(4h)						
7	幼児の理解と接し方① 1歳頃 発達の様子と個人差 [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習し、次回の授業内容に繋げる(4h)						
8	幼児の理解と接し方② 2歳頃 自我の拡大から自我の充実へ [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習し、次回の授業内容に繋げる(4h)						
9	幼児の理解と接し方③ 3歳頃 就園に向けて 社会生活の広がり 自身の園生活について話し合う [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習する 基本的生活習慣の内容について調べておく(4h)						
10	子育てアラカルト① しつけについて 基本的生活習慣とは [準備・課題] 配布された資料をもとに学修した内容を復習し、自身の生活習慣の確立について考える(4h)						
11	子育てアラカルト② 伝統文化の生かし方、楽しみ方 [準備・課題] 配布された資料をもとに、学修した内容を復習する 幼少期に出会った心に残る絵本について調べておく(4h)						
12	子育てアラカルト③ 絵本の楽しみ方 いろいろな絵本にふれ、実際によみかかせの体験をする [準備・課題] 年齢にあった絵本選びとその読み聞かせについて理解を深める(4h)						
13	子育てアラカルト④ 手作りおもちゃの楽しみ方 [準備・課題] 発達に即したおもちゃの与え方や楽しみ方を考える 自身の幼少期の自然体験をまとめる(4h)						
14	子育てアラカルト⑤ 食育、自然体験について [準備・課題] 「自分育ち」について振り返り、将来の母親像を発表できるようまとめておく(4h)						
15	まとめ 子育て、子育ての振り返りと今後の課題について [準備・課題] 授業で学んだ全体の内容について振り返り、総合的なまとめを行う(4h)						
時間外での学修	学んだ内容について、子育て事例を通して「自分育ち」を振り返り、子育ての大切さや楽しさを感じていきましょう。						
受講学生へのメッセージ	子育てについてのアラカルトを紐解きながら、子どもの心や接し方を学び、子育てに喜びや楽しみが持てる基本的資質の滋養を目指しましょう。 オフィスアワーは授業の前後の休み時間に教室で行います。どんなことでも気軽に尋ねてください。						

【LY】音楽療法入門		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員	音楽療法関連公的機関勤務5年						
授業内容	音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学ぶ。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験する。						
授業方法	講義と簡単な演習、音楽療法の実践現場のDVDやCDの視聴も授業内で行う。						
到達目標	知識・理解	音楽療法について基礎的な知識を得ている。			◎		
	思考・判断・表現	高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	音楽の療法的な用いられかたについて関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		40	20	-	-	60
	課題提出		-	20	-	20	40
	合計(点)		40	40	-	20	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。						
テキスト	『補充・代替医療音楽療法 第3版』高橋多喜子 金芳堂(2,268円) ISBN:978-4-7653-1708-5						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	音楽療法の定義、聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について [準備・課題]音楽療法の違いについて調べる(4h)						
2	音楽療法の歴史1：原始時代から古代ギリシャにかけて [準備・課題]音楽と健康の関わりについてまとめる(4h)						
3	音楽療法の歴史2：古代ギリシャから中世、近代音楽療法の発展について [準備・課題]現代で音楽が健康づくりに役立っていると言われている事例について調べる(4h)						
4	高齢者の音楽療法1：認知症の種類、音楽活動について [準備・課題]戦時中の音楽について動画サイトで視聴しまとめる(4h)						
5	高齢者の音楽療法2：実際の音楽療法活動 [準備・課題]学んだ内容を復習し、昔やったことのある手遊びについてまとめる(4h)						
6	高齢者の音楽療法3：歌唱、楽器、即興演奏と連想について [準備・課題]学んだ内容を復習し、曲名が答えとなるクイズを考える(4h)						
7	児童分野の音楽療法1：特別支援教育について、広汎性発達障害について [準備・課題]学んだ内容を復習し、特別支援教育について現在の課題をまとめる(4h)						
8	児童分野の音楽療法2：不登校児、ぜんそく児への音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習し、呼吸法の改善に使える曲を考える(4h)						
9	児童分野の音楽療法3：行動主義的アプローチについて [準備・課題]学んだ内容を復習し、段階的働きかけについてまとめる(4h)						
10	精神科の音楽療法：統合失調症について、実際の音楽活動 [準備・課題]学んだ内容を復習し、集団でできる音楽活動ゲームを考える(4h)						
11	医療現場の音楽療法1：ホスピス、緩和ケアの音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習し、自らの死生観について考えをまとめる(4h)						
12	医療現場の音楽療法2：看護師と共同で取り組む音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習し、音楽ができなくてもできる音楽的な働きかけについてまとめる(4h)						
13	医療現場の音楽療法3：NICUにおける音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習し、低出生体重児への歌いかけ適した曲について例を上げてまとめる(4h)						
14	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、地域における音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習し、障害者が関わる地域イベントの経験について考えをまとめる(4h)						
15	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、地域における音楽療法 [準備・課題]学んだ内容を復習しテストの準備を行う(4h)						
時間外での学修	学んだ内容について、自分の知っている曲や活動であてはまるものがあるかを常に考えて記録するようにしましょう。						
受講学生へのメッセージ	楽器を演奏する体験、立ちあがって動く体験などが授業に含まれます。積極的に参加してください。オフィスアワーは研究室(B403：B号館4階)で毎週木曜日の13：00～14：30です。						

【LY】美術入門		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	竹村 朋子					
資格・制限等	歯科は選択必修					
実務家教員						
授業内容	西洋美術の通史において各時代様式を取りあげ、その代表する芸術作品を紹介しながら「見る」こととは何かを考えます。					
授業方法	プリント、映像資料を用いた講義形式の授業					
到達目標	知識・理解	通史に沿って授業を行い、西洋美術を理解するための必要な知識を身につける			◎	
	思考・判断・表現	西洋美術作品をその歴史的制作背景等も含め深く理解できる			◎	
	関心・意欲・態度	授業の中でいくつかの作品をピックアップして紹介し、詳細な観察及び分析を行うが、それについて疑問・感想を自分の言葉で表現することができる			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	50	30	-	-	80
	コメントペーパー	-	-	-	10	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	30	-	20	100
評価の特記事項						
テキスト						
参考書・教材	プリント・資料を授業ごとに配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・イントロダクション 授業の流れを説明する [準備・課題]プリントや高校以前の美術の教科書などを参考に、美術史の流れを復習しておく(4h)					
2	ギリシア美術・ローマ美術 ギリシア・ローマ美術の特徴を彫刻や壁画から理解する [準備・課題]ギリシア・ローマ美術の復習(4h)					
3	中世美術1(初期キリスト教美術・ビザンティン美術) キリスト教が美術作品に与えた影響を学ぶ [準備・課題]中世美術の復習(4h)					
4	中世美術2(初中世美術・ロマネスク美術) さらに広がるキリスト教美術の影響を美術作品や建築物から理解する [準備・課題]中世美術の復習(4h)					
5	中世美術3(ゴシック美術) 教会堂建築及び教会堂扉口彫刻から当時の思想を読み解く [準備・課題]第5回までの授業の復習プリント(4h)					
6	イタリア初期ルネサンス美術 マザッチョ、フラ・アンジェリコなどの作品を取り上げ、その特徴を理解する [準備・課題]イタリア初期ルネサンス美術の復習(4h)					
7	イタリア盛期ルネサンス美術1 ルネサンス期の頂点を極めるこの時代を、ダ・ヴィンチの作品を中心に取り上げ、理解を深める [準備・課題]イタリア盛期ルネサンス美術の復習(4h)					
8	イタリア盛期ルネサンス美術2 前週に引き続き、盛期ルネサンスにおいて重要な役割を果たしたラファエロ、ミケランジェロの作品を取り上げ、ルネサンス美術について総括する [準備・課題]イタリア盛期ルネサンス美術の復習(4h)					
9	マニエリスム エル・グレコなどの作品から、マニエリスムの特徴を理解する [準備・課題]マニエリスムの復習(4h)					
10	北方美術(ファン・エイクなど) ファン・エイクなどの作品から、ルネサンス美術とは異なる北方美術の特性を観察する [準備・課題]第6回から10回までの授業内容の復習プリント(4h)					
11	バロック美術1(カラヴァッジョ、ベラスケスなど) ヨーロッパ各地に広まったバロック美術について、イタリア、スペインの代表的な画家であるカラヴァッジョやベラスケスの作品を取り上げ、その様式の特徴と作品の特性について理解する [準備・課題]バロック美術の復習(4h)					
12	バロック美術2(レンブラントなど) 前週に引き続き、バロック美術について学修し、その中でもレンブラントを中心に取り上げる [準備・課題]バロック美術の復習(4h)					
13	ロココ美術 ロココ美術では、ヴァトーとフラゴナールの作品を取り上げ、その主題や様式の特性を理解する [準備・課題]ロココ美術の復習(4h)					
14	近代美術1(新古典主義・ロマン主義など) めまぐるしく変化する時代の中で生まれた近代美術について、新古典主義、ロマン主義の作品を見ていく [準備・課題]近代美術の復習(4h)					
15	近代美術2(写実主義・印象派など) 前週に引き続き、近代美術として、写実主義、印象派の作品を扱う。産業革命などの技術的革新が芸術作品に及ぼした影響を踏まえて作品を理解する [準備・課題]第11回から15回までの復習プリント(4h)					
時間外での学修	美術に関する本なども読んでみましょう。 また、興味をもった展覧会などにも足を運び、実際に作品を鑑賞することも大事です。					
受講学生へのメッセージ	絵画でも彫刻でも身の回りにあるものなど興味のあるものを注意深く観察してみましょう。それによって美術史への理解が深まるのです。 オフィスアワーは水曜日の12時10分～13時です。(講義室あるいは非常勤講師控室にあります。)					

【LY】スポーツ演習 I (デ美・音楽・歯科)		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	中野 由香里・日比 千穂					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業内容	「筋力」「持久力」「瞬発力」「心肺持久力」「敏捷性」「柔軟性」といった運動要素や身体の動きを総合的にコントロールする「調整力」をバランスよく向上させるため、楽しみながらできるスポーツやゲームを通じて集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させる事がねらいです。					
授業方法	グループや個人で活動します。第8回・15回は実技試験（体力測定・記録会）となります。この授業は全て実技になります。					
到達目標	知識・理解	ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。			○	
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。			○	
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力することでより良いプレーができる。			◎	
	関心・意欲・態度	自分の体について興味関心を持ち、積極的にスポーツやゲームに参加することができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	受講態度	15	-	15	-	30
	実技試験 (2回)	-	10	20	10	40
	レポート (毎回)	-	-	-	15	15
	自己評価 (毎回)	-	15	-	-	15
	合計(点)	15	25	35	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス（授業内容の説明）、準備運動、アイスブレイキング1、チャレンジ・ザ・ゲームについて [準備・課題]授業内容を把握し、準備体操の復習をする。(1h~2h)					
2	アイスブレイキング2、インディアカ（グループ分け・練習） [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)					
3	アイスブレイキング3、インディアカ（試合） [準備・課題]インディアカのルールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
4	アイスブレイキング4、ソフトバレーボール（グループ分け・練習） [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解する。(1h~2h)					
5	アイスブレイキング5、ソフトバレーボール（試合） [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
6	アイスブレイキング6、キンボール（練習） [準備・課題]キンボールのルールを理解する。(1h~2h)					
7	アイスブレイキング7、キンボール（試合） [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
8	体力測定（実技試験） [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h~2h)					
9	集団ゲーム1、ドッジ・ビー [準備・課題]ドッジ・ビーのルールを理解し、取組を振り返る。(1h~2h)					
10	集団ゲーム2、バドミントン（練習） [準備・課題]バドミンントンのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)					
11	集団ゲーム3、バドミントン（試合） [準備・課題]バドミンントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)					
12	チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ） [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。(1h~2h)					
13	チャレンジ・ザ・ゲーム（個人種目） [準備・課題]個人種目のルールを理解しする。(1h~2h)					
14	チャレンジ・ザ・ゲーム（総練習） [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。(1h~2h)					
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会（実技試験） [準備・課題]記録をレポートにまとめる。(1h~2h)					
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。					
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分に注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。					

【LY】スポーツ演習Ⅱ(デ美・音楽・歯科)		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	中野 由香里・日比 千穂						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を取り入れ、基礎体力作りを心がけて学修します。楽しみながらできるスポーツやゲームの中で集団意識を高め、定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣を確立させるようにすることがねらいです。						
授業方法	受講生同士の交流を深めるために、決められたグループで活動することがあります。第8回目、15回目は実技試験(体力測定・記録会)となります。15回全て実技となります。受講人数により、内容が変更される場合があります。						
到達目標	知識・理解	ニュースポーツやレクリエーション・ゲームのルールを理解し、体験することができる。			○		
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるよう、スポーツを通じて体力づくりを心がけることができる。			○		
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力しながら記録に挑戦することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	自分の体についてよく理解し、興味関心を持ち、積極的に運動と関わることができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	受講態度		15	-	15	-	30
	実技試験(2回)		-	10	20	10	40
	レポート(毎回)		-	-	-	15	15
	自己評価(毎回)		-	15	-	-	15
	合計(点)		15	25	35	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス(授業内容の説明)、準備運動、アイスブレイキング、ドッジ・ビー [準備・課題]授業内容を把握する。(1h~2h)						
2	アイスブレイキング1、インディアカ(グループ分け・練習) [準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
3	アイスブレイキング2、インディアカ(試合) [準備・課題]インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
4	アイスブレイキング3、ソフトバレーボール(グループ分け・練習) [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
5	アイスブレイキング4、ソフトバレーボール(試合) [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
6	アイスブレイキング5、バスケットボール(グループ分け・練習試合) [準備・課題]バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h~2h)						
7	アイスブレイキング6、バスケットボール(試合) [準備・課題]バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
8	体力測定(実技試験) [準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h~2h)						
9	集団ゲーム1、キンボール(練習) [準備・課題]卓球・キンボールのルールを理解する。(1h~2h)						
10	集団ゲーム2、キンボール(試合) [準備・課題]キンボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
11	集団ゲーム3、バドミントン(練習・試合) [準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h~2h)						
12	チャレンジ・ザ・ゲーム(ロープジャンプ) [準備・課題]ロープジャンプのルールを理解する。(1h~2h)						
13	チャレンジ・ザ・ゲーム(個人種目) [準備・課題]個人種目のルールを理解する。(1h~2h)						
14	チャレンジ・ザ・ゲーム(総練習) [準備・課題]記録会に向けて作戦を立てる。(1h~2h)						
15	チャレンジ・ザ・ゲーム記録会(実技試験) [準備・課題]記録会をレポートにまとめる。(1h~2h)						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。						
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。						

【LY】 体育 I (幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	実技	45時間		
教員	中野 由香里						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	第1回～第15回の授業では、親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を中心に基礎体力づくりを心がけて実施します。定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣の確立を目指します。16回～22回の授業では、コミュニケーションを図りながら集団意識を高めるために創作ダンスを実施します。仲間意識を大切に、一つの作品を完成させて発表することがねらいです。						
授業方法	第1回～15回の授業は、当日の種目をグループまたは個人で実施します。種目によって競技に発展することがあります。第16回～第22回の授業は、ダンスの基本的な動きを習得し、グループに分かれて創作ダンスを完成させます。						
到達目標	知識・理解	体力づくりを心がけ、体育のおもしろさを十分に体験することができる。			◎		
	思考・判断・表現	集団活動のなかで自分の役割を把握し、集団意識を高めながらスポーツに参加することができる。			○		
	技能	創作ダンスについて理解し、テーマに沿った創作ダンスの発表ができる。			○		
	関心・意欲・態度	自己の体力について知ること、生活スタイルの気づきや見直しができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(毎回)		40	-	-	-	40
	自己評価(毎回)		-	20	-	-	20
	発表(1回)		-	-	15	-	15
	受講態度		-	-	-	25	25
合計(点)		40	20	15	25	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育、必要に応じて資料を配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション(授業内容の説明)：[準備・課題]授業内容を把握し、全体の計画を立てる。(1h～2h)						
2	ドッジボール [準備・課題]本時の授業を振り返り、コミュニケーションについてノートにまとめる。(1h～2h)						
3	インディアカ(基本)：[準備・課題]インディアカのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)						
4	インディアカ(試合)：[準備・課題]インディアカの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)						
5	ソフトバレーボール(グループ分け・ミニゲーム) [準備・課題]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)						
6	ソフトバレーボール(試合) [準備・課題]ソフトバレーボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)						
7	体力測定(準備)、卓球：[準備・課題]体力測定について理解し、体調を整える。(1h～2h)						
8	体力測定(実技試験)：[準備・課題]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h～2h)						
9	バスケットボール(チーム決め・チーム練習) [準備・課題]バスケットボールのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)						
10	バスケットボール(ミニゲーム) [準備・課題]バスケットボールの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)						
11	バドミントン(チーム決め・ミニゲーム) [準備・課題]バドミントンのルールを理解し、作戦を立てる。(1h～2h)						
12	バドミントン(試合)：[準備・課題]バドミントンの試合を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)						
13	チャレンジ・ザ・ゲーム(基本) [準備・課題]チャレンジ・ザ・ゲームの種目を理解し、作戦を立てる。(1h～2h)						
14	チャレンジ・ザ・ゲーム(種目練習) [準備・課題]個人種目を決定し、記録会に向けて準備をする。(1h～2h)						
15	チャレンジ・ザ・ゲーム(記録会)：[準備・課題]記録をレポートにまとめる。(1h～2h)						
16	創作ダンスのVTRをみてグループ決め [準備・課題]創作ダンスのイメージをふくらませ、情報収集する。(1h～2h)						
17	創作ダンス1(イメージづくり)：[準備・課題]創作ダンスのイメージを整理する。(1h～2h)						
18	創作ダンス2(イメージ・構成づくり) [準備・課題]グループ内で役割を決定し、練習計画を立てる。(1h～2h)						
19	創作ダンス3(構成まとめ)：[準備・課題]構成の確認をし、発表に向けて練習をする。(1h～2h)						
20	創作ダンス4(構成仕上げ)：[準備・課題]発表に向けて練習をする。(1h～2h)						
21	創作ダンス5(構成仕上げ・発表練習)：[準備・課題]発表の最終確認をし、準備する。(1h～2h)						
22	創作ダンス6(舞台発表)：[準備・課題]発表を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。また、発表に向けてグループ練習を積極的に実施してください。						
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう一所懸命に取り組んでください。安全には十分注意(熱中症対策は各自準備すること)してください。運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室(H203：H号館)で毎週金曜日の12：15～12：45です。						

【LY】 体育Ⅱ (幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	講義	15時間		
教員	中野 由香里						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	健康は、充実した生活を送るために不可欠となる要因のひとつです。より良い健康的な生活を送るために、自分自身の生活習慣を見直し、健康について基礎知識を身につけます。						
授業方法	全て講義となります。図書館等を利用し各自のテーマに合わせて、調査・追求したことをまとめて発表します。						
到達目標	知識・理解	健康について理解し発表することができる。			◎		
	思考・判断・表現	課題を作成し、提出することができる。			○		
	技能	自分自身のライフスタイルの見直しができる。			○		
	関心・意欲・態度	計画的に学習する姿勢がみられる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート (毎回)		40	-	-	-	40
	提出物		-	20	-	-	20
	発表 (1回)		-	-	10	-	10
	小テスト (1回)		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	なし						
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育資料は、必要に応じて配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス (グループ分け)、ライフスタイルの見直し [準備・課題] ライフスタイルについて見直したことをまとめ、今後の計画をする。(4h~6h)						
2	テーマについて (発表の計画) [準備・課題] テーマについて理解し発表に向けた計画をまとめる。(4h~6h)						
3	発表準備1 (テーマに沿った内容を調べ、発表に向けた準備をする) [準備・課題] 生活習慣について見直し、生活リズムの改善を試みる。(4h~6h)						
4	発表準備2 (調べた内容をまとめ、発表に向けた準備をする) [準備・課題] 日々の生活の中で正しい姿勢を心がける。(4h~6h)						
5	発表準備確認1 (発表に向けた内容をまとめ、確認する) [準備・課題] 本時の内容についてノートにまとめる。(4h~6h)						
6	発表準備確認2 (確認した内容を整理し、発表の段取りをする) [準備・課題] 発表の段取りをまとめる。(4h~6h)						
7	発表 [準備・課題] 課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
8	小テスト [準備・課題] 発表の振り返りと課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、自分の生活スタイルの見直しに心がけてください。						
受講学生へのメッセージ	毎時間の授業の中でメモを取ることを忘れず、自分の生活スタイルに役立てるよう集中して受講してください。 オフィスアワーは研究室 (H203 : H号館) で毎週金曜日の12 : 15~12 : 45です。						

【LZ】情報科学		教養科目		1年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	大橋 みどり・梶山 記久子						
資格・制限等	幼教は卒業必修						
実務家教員							
授業内容	現代社会において必須となっているIT基本ツールであるWord（ワード・ワープロソフト）およびExcel（エクセル・表計算ソフト）の操作方法を習得し、社会人として即戦力と成り得る技能を身に着ける。 Word：社内外向け文書、ビジュアル要素を取り入れた文書を見栄えよく作成する Excel：表作成・計算式や関数入力・グラフ作成を基礎から学習する						
授業方法	講義およびパソコン演習						
到達目標	知識・理解	コンピュータの基本的操作ができる。 WordおよびExcelの基本的な操作ができる。			○		
	思考・判断・表現	Word：目的に即した見る人にわかりやすく美しい文書が作成できる。 Excel：適切な表書式の設定、基本的な式や関数の使用、効果的なグラフの選択ができる。			◎		
	技能	Word：自分でレイアウトを考えて実用的な文章が作成できる。 また、指定された文書を間違いなく素早く作成できる。 Excel：示された課題を素早く正確に作成できる			◎		
	関心・意欲・態度	演習に意欲的に取り組むことができる。 コンピュータ操作、Word、Excel等の操作を進んで取得しようとする。 授業中に完成できなかった練習問題及び宿題は次週までに仕上げしておく。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	Word課題提出		5	15	20	-	40
	Excel筆記試験		15	15	10	-	40
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	Word課題提出：第8回に実施 Excel筆記試験：定期試験期間に実施 授業態度：毎回						
テキスト	『30時間でマスター Word&Excel2016』実教出版株式会社(1,026円)ISBN:978-4-407-34019-8						
参考書・教材	USBフラッシュメモリーを各自準備してください						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	IT基礎：授業ガイダンス。パソコン、IT基礎（学内パソコン使用上の注意、インターネット基礎、ネットワーク使用上の注意点など）について学び、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。 [準備・課題]学んだ内容を復習・確認し、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。(0.5h)						
2	Word：Wordの画面構成及び用語、基本操作（起動・終了・文書の作成・保存など）について学ぶ。 [準備・課題]Wordの基本操作（起動・終了・文書の作成・保存など）ができるようになる。(1h)						
3	Word：いろいろな編集機能（文字の装飾・書式設定など）を用いて見易い文書を作成できるようになる。 [準備・課題]編集機能を復習する。(1h)						
4	Word：表の挿入・編集を学ぶ。基本的な表から始め、複雑な表を作れるようになる。 [準備・課題]複雑な表が作成できるよう復習する。(2h)						
5	Word：ビジュアル要素（ワードアート・クリップアート・図形・ページ罫線など）の挿入方法を学び、見易くインパクトのある文書を作成できるようになる。 [準備・課題]ビジュアル要素挿入の復習をする。(1h)						
6	Word：問題演習 いろいろな用途に応じた文書を作成する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。(1h)						
7	Word：問題演習 用途に応じ、ビジュアル要素の入った文書を作成できるようになる。 [準備・課題]授業中に完成できなかった課題を完成させる。(1h)						
8	Word：課題作成・提出 学科毎に与えられたテーマに従って分かりやすく見栄えの良い文書を作成する。 [準備・課題]課題作成に向け、これまでの操作を復習しておく。(1h)						
9	Excel：Excelの画面構成及び用語、基本操作（起動・終了・ブックの作成・保存など）について学ぶ。 シートへのデータ入力を学ぶ。 [準備・課題]Excelの基本操作及びデータ入力ができるように復習する。(1h)						
10	Excel：計算式の入力方法、合計・平均の計算、書式の設定 [準備・課題]Excelの基本入力ができ、書式を整えた表が作成できるように復習する。(2h)						
11	Excel：グラフの作成方法を学ぶ。基本的なグラフからはじめ、見やすく効果的なグラフが作成できるようになる。 [準備・課題]見やすく効果的なグラフを素早く的確に作成できるよう操作の復習をする。(2h)						
12	Excel：基本的な関数（最大・最小・COUNTなど）の挿入ができるようになる。 [準備・課題]関数挿入方法を復習する。(1h)						
13	Excel：絶対参照を用いる場合とその使い方を習得する。 [準備・課題]絶対参照を使用する場合の確認とその使用方法を復習する。(3h)						
14	Excel：IF関数など、複雑な関数の挿入ができるようになる。 [準備・課題]複雑な関数の挿入方法を復習する。(2h)						
15	Excel：問題演習 表作成から関数挿入、グラフ作成まで総合的な問題を処理する。 [準備・課題]授業中に完成できなかった問題を完成させる。(1h)						
時間外での学修	授業時間内にできなかった練習問題等は次の時間までに仕上げてください。前回までに学んだことができていないと次の授業についていきません。必ず復習をしてください。また、欠席した場合はシラバスを参考に自習してください。学内・自宅において空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、パソコンに慣れ、技能を身につけること。入力が苦手な人は進んで入力練習をしてください。						
受講学生へのメッセージ	演習中心の授業となるため授業中は積極的に課題に取り組んでください。私語・私事は厳禁です。オフィスアワーは授業後パソコン室です。						

【LZ】情報活用(幼児教育学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	矢田貝 真一						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	暮らしの中には情報があふれ、この情報の活用のためにさまざまな分野でコンピュータが利用されています。情報とは何か、生活を豊かにするためには情報をどのように活用すべきなのか考え、特に保育者としてコンピュータをどのように利用すべきなのかなどについて理解しながら、保育に関するプレゼンテーション能力を中心に情報を活用するための発展的なスキルを身につけていきます。						
授業方法	保育を中心にしながら情報の意味や実際の活用について、コンピュータを利用した作品づくりをとおして学ぶという演習形式の授業を展開します。						
到達目標	知識・理解	情報活用や情報機器に関する基本的な知識を身につけることができる。			○		
	思考・判断・表現	情報を活用することをとおして、専門分野と関連する基本的な思考力や判断力、表現力を身につけることができる。			○		
	技能	情報機器の活用についての基本的な技能を身につけることができる。			◎		
	関心・意欲・態度	情報活用について興味や関心を持ち、将来の社会的役割と結びつけながら活用する努力や工夫をして、積極的に学修に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		10	-	20	-	30
	制作物・発表		10	10	20	-	40
	課題		-	5	-	5	10
	自己評価		-	5	-	5	10
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		20	20	40	20	100	
評価の特記事項	自己評価は学修成果に対する自己の評価、受講態度は学修取組・発表・提出等の状況とします。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な資料は配付しますが、別にフラッシュメモリーが必要となります(授業で指示します)。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス (この授業の目標と内容、学び方を理解し、コンピュータについての基本的知識と技能を確認する) [準備・課題]情報科学で学んだ基本的知識や技能を復習する(1~3h)						
2	情報活用に関する基本的知識と技能(1)(コンピュータの特性、基本ソフトの利用方法などを理解する) [準備・課題]学んだ知識と技能を復習する(1~3h)						
3	情報活用に関する基本的知識と技能(2)(著作権の概要と留意内容、ネチケットなどを理解する) [準備・課題]学んだ知識と技能を復習する・保育者に必要な情報機器に関する知識や技能について考える(1~3h)						
4	保育における情報活用(授業外の課題で調べてきた課題も活用しながら、保育者として身につけておくべき知識・技能、保育現場の状況などを理解し、確実に身につける) [準備・課題]学んだ内容を復習し、具体的な保育現場での活用例を調べてまとめる(1~3h)						
5	プレゼンテーションの準備(1)利用ソフトの概要 (MS Power Pointの概要と使い方を理解し、文書ソフトの復習を行って活用できるようにする) [準備・課題]学んだソフトについて復習する(1~3h)						
6	プレゼンテーションの準備(2)文書ソフト等とMS Power Pointの基本練習 (授業外の課題も活用しながら、基本を確実に理解して習得し、操作ができるようにする) [準備・課題]これまでに学んだ内容について復習し、実技試験が受けられるように準備する(1~3h)						
7	中間のまとめと実技試験(これまでに学んだ内容を振り返り、実技試験を受ける) [準備・課題]実技試験の結果を振り返り、不十分なところを復習する(1~3h)						
8	プレゼンテーション資料の作成(1)(幼児教育に関する課題の説明を理解してテーマを選択し、文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料作成をはじめる) [準備・課題]自己のテーマを決定して、計画を完成させる(1~3h)						
9	プレゼンテーション資料の作成(2)(資料の作成を継続する) [準備・課題]計画と進捗の調整をする(1~3h)						
10	プレゼンテーション資料の作成(3)(資料の作成を継続する) [準備・課題]進捗の調整をする(1~3h)						
11	プレゼンテーション資料の作成(4)(前時までの取組を、完成を見通して継続する) [準備・課題]発表の準備を行い、進捗に合わせ必要に応じて授業外も資料作成にあたる(1~3h)						
12	プレゼンテーション資料の作成(5) (授業外の取組も活用しながら、文書ソフト等とMS Power Pointを用いた資料を完成させる) [準備・課題]発表の準備を練習もあわせて確実に(2~5h)						
13	制作した作品の発表(1)(資料を用いた発表と相互評価を行う) [準備・課題]発表の準備をする/発表した資料の手直しをする(1~3h)						
14	制作した作品の発表(2)(前時の取組を継続する) [準備・課題]発表した資料の手直しをする(1~3h)						
15	まとめ(学修して身につけた知識や技能についてまとめる) [準備・課題]制作物の提出と学んだ内容を総合的に復習する(1~3h)						
時間外での学修	[準備・課題]は、授業の到達目標を達成するために必要となる内容ですので、()の標準学修時間をめどとして確実に学修しましょう。						
受講学生へのメッセージ	前期授業の「情報科学」における基本的な操作を確実に復習するとともに、制作にあたっては保育に関する自分なりの課題をもつてのぞんでください。制作物の提出期限は厳守すること。オフィスアワーはA305(A号館3F)で毎週木曜日の16:00から17:00です。質問等があれば、どうぞ。						

【LZ】情報活用(デ美・音楽・歯科)		教養科目		1年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	大橋 みどり・梶山 記久子						
資格・制限等	既修得科目による制限有り(情報科学)						
実務家教員							
授業内容	前期『情報科学』で学修した基礎から一歩進め、実用的なパソコンの活用方法を学びます。Excelにおいては、演習を中心に応用力を養いビジネス等で即活用できる能力を養成します。PowerPointにおいては、情報化が進む社会でのプレゼンテーション能力を重視し、IT時代に即した効果的な資料の作成方法と発表の仕方について学びます。						
授業方法	講義・パソコン演習・発表体験 等						
到達目標	知識・理解	IT用語を理解し、基本的なコンピュータのスキルを身に付けることができる。			◎		
	思考・判断・表現	SNS等、インターネットを利用する上で社会人としてのマナーを守ることができる。			○		
	技能	アプリケーションソフトの特徴を理解し、応用活用できる技術を取得することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	ビジネスソフトの活用やネットコミュニケーション等、関心を持ち自主的に理解しようと努力する。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	Excel課題提出		20	-	-	-	20
	プレゼンテーション資料の作成		10	-	20	-	30
	プレゼンテーションの発表		-	20	10	-	30
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		30	20	30	20	100	
評価の特記事項	作成したプレゼンテーション資料を使って定期テスト時に発表します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には規定により単位を与えません。						
テキスト	『ドリルでマスター! PowerPoint2016&プレゼンテーション』noa出版(1,428円)ISBN:978-4-908434-12-9 『30時間でマスター Word&Excel2016』実教出版 前期(情報科学)で使用したものを引き続き使用します。(1,026円)ISBN:978-4-407-34019-8						
参考書・教材	データ保存用に前期で使用したUSBメモリーを用意してください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	Excel 前期基本操作の復習(関数、グラフ作成、データベース機能) [準備・課題]基本操作の練習問題(1h)						
2	Excel 端数処理をする数学・三角関数(ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN) [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
3	Excel データを判定する論理関数(IF)の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
4	Excel データを判定する論理関数(IF)の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
5	Excel 縦方向に表データを検索する検索・行列関数(VLOOKUP)の基本 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
6	Excel 縦方向に表データを検索する検索・行列関数(VLOOKUP)の応用 [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
7	Excel 条件を付けて集計する数学・三角関数(COUNTIF)(SUMIF) [準備・課題]上記関数を復習し、練習問題で理解を深める(1h)						
8	Excel 演習問題にて総復習 [準備・課題]中級関数に関して練習問題にて総復習する(1h)						
9	PowerPoint プレゼンテーションの基本(起動・作成・編集)STEP 2・4・5 [準備・課題]基本操作を簡潔にまとめる(1h)						
10	PowerPoint 特殊な文字・イラスト・表・グラフ・図形の挿入 STEP 6・7・8 [準備・課題]テキストの練習7・8・9で復習し理解を深める(1h)						
11	PowerPoint 演習 Drill 1~4 [準備・課題]Drill 5~7で復習し理解を深める(1h)						
12	PowerPoint 画面の切り替え・アニメーション効果 STEP 9 [準備・課題]練習10・11で復習し理解を深める(1h)						
13	PowerPoint 資料作成の注意点及び発表の準備 STEP 1・3・10 [準備・課題]テーマを考えスライドデザインを作成する・資料収集(1h)						
14	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成1(テーマは自由とする) [準備・課題]資料の作成(2h)						
15	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成2 完成させる [準備・課題]全体の調整と発表技法を考える(2h)						
時間外での学修	授業時間内にできなかった演習問題等は必ず仕上げておくようにしてください。自宅にパソコンがない学生は学内でもできます。空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、技能を身に付けてほしいと思います。						
受講学生へのメッセージ	コンピュータウイルスや不正アクセスからの防御や情報紛失を防ぐための意識を持ち、パソコンを利用するときのマナーやルールを守って自分の身を守るよう心がけてください。オフィスアワーは授業後のパソコン教室で行います。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習 I (幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	中野 由香里・立崎 博則・松村 齋・光井 恵子・今村 民子・内藤 敦子・名和 孝浩						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短期大学での学びや社会人になるために必要な基礎的な知識、技能やコミュニケーション能力について多面的に学びます。また、将来保育者として必要とされる社会性や協調性についても学ぶとともに、社会的・職業的自立に向けて、自己認識と将来設計について考えます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入内容を評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要に応じて配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト：自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program①： 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②：初年次教育基礎ゼミ① 4学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(4学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	基礎教養を確かめよう(1)：日本語検定を受けてみよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
5	基礎教養を確かめよう(2)：日本語検定の問題集を通して、自分の持てる力を確かめよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
6	基礎教養を確かめよう(3)：日本語検定の模擬試験を通して、自分の持てる力を確かめよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
7	基礎教養を高めよう(1)：日本語検定受験に向けて、自分の持てる力を高めよう [課題] 日本語検定の復習(1~2h)						
8	日本語検定受験(6/7に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話「新しい時代を生きる女性たちへ」(外部講師：岐阜市女性センター 河合寛子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	俳人松尾芭蕉『奥の細道』の結びの地として、また水の都とも呼ばれる大垣の郷土や歴史を調べ、学外研修(郷土巡り)を通して、豊かな自然や歴史に触れる [課題] 資料をまとめ、感想等をまとめる(1h)						
11	保育に生かす知識と技能(1)：保育場面でも使える集団遊びの体験を通して、保育者になる心構えを持つ [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
12	保育に生かす知識と技能(2)：エプロンシアターの演じ方や楽しさを知り、表現力を培う(外部講師) [課題] 授業を振り返り感想等をまとめる(1h)						
13	保育に生かす知識と技能(3)： 保育ボランティアや保育実習などで使える名札作りを通して、保育者になる心構えを持つ [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
14	講話「女性の健康と命の大切さ」(外部講師：前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	前期のまとめ：(1)日本語検定の振り返り (2)前期の学修の振り返り (3)自己の課題を確認し、今後に向けての取り組みについて考える [課題] 授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1~2h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めてください。分からない点は図書館等で調べ解決すること。						
受講学生へのメッセージ	授業内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、チューターの研究室(H号館2F)へ来て相談してください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅰ (デザイン美術学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘・宮川 友子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短期大学での学び方を理解し、基礎的な学習技術を習得します。合わせて社会人となるために必要な基本的な教養や行動様式を学びます。さらに、美術表現を一層豊かに奥深くするための素養として、広範な世界を学びます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる			◎		
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよそその見通しが持てる			○		
	技能	短期大学で必要となる基礎的な学びの技能が身についている			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組んでいる			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	評価は、主に記録ノートとレポート、グループワークにて行います。未提出課題は、評価対象外となりますので、記録ノートとレポートは、必ず提出してください。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト：自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program①： 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②：初年次教育基礎ゼミ① 4学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(4学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	「日本語検定」準備学習Ⅰ：概要説明と模擬テスト [課題] テスト内容をしっかり振り返り、不十分だったところを復習する(2~3h)						
5	「日本語検定」準備学習Ⅱ：敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [確認] [課題] 学んだ内容を復習する(2~3h)						
6	「日本語検定」準備学習Ⅲ：敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [定着] [課題] 学んだ内容を復習する(2~3h)						
7	「日本語検定」準備学習Ⅳ：敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字 [復習] [課題] 学んだ内容を復習する(2~3h)						
8	日本語検定受験(6/7に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話「新しい時代を生きる女性たちへ」(外部講師：岐阜市女性センター 河合覚子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	共同制作演習Ⅰ：みずき祭の出し物について、各クラスに分かれて内容を検討することによりクラス内のコミュニケーションを深める [課題] 目的を確認し、取り組んだことを復習し、出された課題に取り組む(1h)						
11	専門的職業講話Ⅰ美術編：美術分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、美術への関心を深める(外部講師) [課題] (1)美術分野について、学んだ内容を復習する (2)レポートを書く(1h)						
12	専門的職業講話Ⅱマンガ編：マンガ分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、マンガへの理解を深める(外部講師) [課題] (1)マンガ分野について、学んだ内容を復習する (2)レポートを書く(1h)						
13	専門的職業講話Ⅲデザイン編：デザイン分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、デザインへの理解を深める(外部講師) [課題] (1)デザイン分野について、学んだ内容を復習する (2)レポートを書く(1h)						
14	講話「女性の健康と命の大切さ」(外部講師：前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	未来の姿を描くⅠ：自己の将来構想についてしっかりと考え、コース目標やねらい、専門科目の内容について理解し、コース選択について考える。 [課題] 自己の将来を見据え、コース、科目を把握・理解する(2~3h)						
時間外での学修	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぶとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。 尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅰ (音楽総合学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	服部 篤典・渡辺 博夫・菅田 文子・鈴木 孝育・横井 香織・松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○		
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			◎		
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		25	30	-	-	55
	受講態度		-	-	20	25	45
	合計(点)		25	30	20	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	授業内で指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト：自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program①： 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②：初年次教育基礎ゼミ① 4学科の学生で構成された小グループで課題作文を もとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(4学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	「日本語検定」準備学習(1) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)						
5	「日本語検定」準備学習(2) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)						
6	「日本語検定」準備学習(3) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)						
7	「日本語検定」準備学習(4) [課題] 学んだ内容を復習する(1~2h)						
8	日本語検定受験(6/7に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話「新しい時代を生きる女性たちへ」(外部講師：岐阜市女性センター 河合寛子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	専門的職業講話Ⅰ：ピアノ、電子オルガン、音楽療法編(外部講師：専門職に従事している卒業生) [課題] 学んだ内容を振り返る(1~2h)						
11	個別面談(1) コース別に分かれてチューターと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)						
12	個別面談(2) コース別に分かれてチューターと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)						
13	共同作業演習Ⅰ：コース別に分かれて取り組む [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)						
14	講話「女性の健康と命の大切さ」(外部講師：前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	前期のまとめと後期の準備 [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、受講しての感想や内容についての自らの考察を記入しますが、時間内に記入できなかった場合は次回までに記入し、担当教員まで提出してください。 また、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めましょう。						
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し、臨んでください。広範囲な講義、演習です。毎回欠席することなく受講してください。 オフシアワーは各チューターの指示に従ってください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習 I (歯科衛生学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	今井 藍子・海原 康孝・小原 勝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	<p>本学の建学の精神と教育方針に沿った学修成果の達成に向けて、受講生が主体的に学び、幅広い視野を持ち知的基盤等を教養として身につけるようにします。その基礎となる短期大学での学び方や人間の理解を中心に、学問的知識・技能や思考方法、社会人となるための知識・行動様式などを学んでいくための基本的内容を総合的に理解することを目的とします。</p>						
授業方法	<p>学生相互及び教員とのコミュニケーションを図りながら体験的に学修します。全学単位、学科単位など授業形態が異なります。講義形式、あるいは演習等のグループワーク、発表があります。</p>						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる			△		
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる			△		
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身に付いている			◎		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		-	-	30	-	30
	レポート		-	5	-	-	5
	発表		5	-	-	-	5
	受講態度		-	-	-	60	60
合計(点)		5	5	30	60	100	
評価の特記事項	<p>学修記録ノートの記載・提出、レポート(第9・14回:講話)、発表(欠席した場合、レポート作成を課す)、受講態度(出席・課題提出状況)で評価します。 授業実施時間の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。</p>						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要な資料は、配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎教養テスト：自分の基礎的な力を確認する [課題] テスト内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(2h)						
2	初年次教育Start program①： 初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学びのスキルについて学ぶ(総合教育センター) [課題] (1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
3	初年次教育Start program②：初年次教育基礎ゼミ① 4学科の学生で構成された小グループで課題作文をもとに交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ(4学科教員) [課題] (1)学修内容を復習する (2)授業内容を活用して作文を完成させる(1~2h)						
4	日本語検定準備学習(1)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 過去問を復習する(1h)						
5	日本語検定準備学習(2)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 過去問を復習する(1h)						
6	日本語検定準備学習(3)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 過去問を復習する(1h)						
7	日本語検定準備学習(4)：在学中に文章力や漢字能力などの日本語力を向上させ、日本語検定合格を目指す [準備・課題] 過去問を復習する(1h)						
8	日本語検定受験(6/7に補講として実施) [準備] 日本語検定の予習(2~3h)						
9	講話「新しい時代を生きる女性たちへ」(外部講師：岐阜市女性センター 河合寛子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
10	環境を考えるエコツアー：エコツアーを通してクラス内でのコミュニケーションを深め、本学で実施されているエコ活動を知る。また、エコロジーについて考える [準備・課題] エコロジーについて調べ、記述する(1h)						
11・12	日本の伝統文化に触れる：浴衣の着付け：浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [準備・課題] 日本の文化と着物について調べ、記述する(2h)						
13	社会人としてのマナー・服装編：社会人としてのスーツの着こなし方を学ぶ。(外部講師) [準備・課題] 学んだ内容を復習し、いつでも身だしなみが整えられるようにする。(1h)						
14	講話「女性の健康と命の大切さ」(外部講師：前田キヤ子先生) [課題] 内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(2~3h)						
15	学生発表：「自分の考える教養とは」をテーマに、受講して学んだことや教養に対する自分の考えをまとめ、決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する。 [準備・課題] 到達目標に対する自己評価を行い、自分の考えを記述する(1h)						
時間外での学修	毎回、受講後に「学修記録ノート」へ受講内容や学んだことを明確に記録してください。						
受講学生へのメッセージ	<p>本科目は、多種多様な講義と演習の科目です。毎時間出席することにより、受講記録を行うことが大切です。担当教員より「学修記録ノート」提出の指示があった場合は、指示通りに提出してください。最終日に「学修記録ノート」を全員提出してもらい、評価をします。 オフィスアワーは、各担当教員の時間になります。</p>						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅱ (幼児教育学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	中野 由香里・立崎 博則・松村 齋・光井 恵子・今村 民子・内藤 敦子・名和 孝浩						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を深める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について知る [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
2	自立するためのライフプラン：将来設計と就業観・勤労観について考える(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
3	社会人に必要なコミュニケーション： 社会人として必要なコミュニケーション力について考える機会とする(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
4	共同作業体験演習Ⅰ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
5	共同作業体験演習Ⅱ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
6	レクリエーションワーク：レクリエーションを通してコミュニケーションを学ぶ(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
7	専門的職業講話：社会で活躍している先輩の話聞き、職業人に対する憧れをもつ(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
8	個別面談： 今までの学生生活や学修の様子を振り返り、自分の課題と今後の進路について考える機会とする [準備・課題]自己の課題や進路希望についてまとめる(1h)						
9	保育職とは(公務員他)：保育職(公務員他)について考える・保育実習に向けて [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
10	社会人基礎力講座：社会人として必要なマナー・挨拶・話し方・電話の応対等について学ぶ(外部講師) [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
11	共同作業体験演習Ⅲ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
12	保育園研究セミナー：保育園の先生方から直接お話を聞く [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
13	初年次教育Start program③：初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生によるグループで交流を行う(4学科教員) [課題](1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1～2h)						
14	共同作業体験演習Ⅳ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [準備・課題]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
15	まとめ：後期の学修を振り返り、総括すると共に今後に向けての課題を明らかにする [準備・課題]学修した内容を復習し、記録用紙にまとめる。(1h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心を持ち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めること。分からない点は図書館等で調べ解決してください。						
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、チューターの研究室(H号館2F)へ来て相談してください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅱ (デザイン美術学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘・宮川 友子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	前期で身に付けた基礎学修を応用していくとともに、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身に付けていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身に付け、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等をよく確認しておいてください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			◎		
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。			○		
	技能	自己の将来を実現していくために必要な基本的技能が身についている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想実現に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入状況を評価します。						
テキスト	なし						
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養キャリアⅡガイダンス：授業の進み方を把握し、キャリア教育の概念を理解する [課題]講座の目的、目標をまとめる(1h)						
2	社会人に必要なコミュニケーション：社会に出たときに必要となるコミュニケーションとは、どのようなものか、それらを身につけるにはどうするかを具体的に知る [課題]コミュニケーションの種類、身につける方法を理解し、まとめる(1h)						
3	共同制作演習Ⅱ：クラスごとに、みずき祭クラス企画の内容と、運営する方法を設計する [課題]企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる(2h～3h)						
4	共同制作演習Ⅲ： みずき祭で発表する共同作品のスムーズな制作のため、全員で協力し話し合い、目的を達成する [課題]協力することの必要性を理解し、まとめる(2h～3h)						
5	自己分析Ⅲ：自己を理解することで、他者との関わり方とその必要性を知る [課題]自他の理解を深め、納得した上で考えをまとめる(2h～3h)						
6	社会人としてのマナーⅠ 服装編： 社会人として適切な服装と、着こなしのポイントを知り将来に備える(外部講師) [課題]社会人らしい服装について理解し、まとめる(1h)						
7	個人面接(言葉での表現演習)：自身の考え、行為について、状況や背景を踏まえ言葉で表現する [課題]伝えることの重要性を考え、まとめる(2h～3h)						
8	専門的職業演習Ⅰ情報デザイン編①： オリジナルスマートフォンアプリ制作のためのアイデア出しとデザインの作成(外部講師) [課題]制作手順を理解し、まとめる(1h)						
9	専門的職業演習Ⅱ情報デザイン編②：オリジナルスマートフォンアプリ制作、完成(外部講師) [課題]制作したアプリについて、まとめる(1h)						
10	社会人基礎力 マナー・挨拶・話し方・電話： 働く上で基本となる、社会人として身につけておくべきスキルを学ぶ(外部講師) [課題]社会人らしい対応の注意点について理解し、まとめる(2h～3h)						
11	議論演習：自己理解ができた上で、どうすれば表現したい事柄を、他者に伝えることができるかを知る [課題]言葉の伝え方を理解し、まとめる(2h～3h)						
12	履歴書の書き方：文によって自己を表現することの重要性と、書き方の注意点を学ぶ [課題]目標設定とリサーチの重要性を理解し、まとめる(2h～3h)						
13	初年次教育Start program③：初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生によるグループで交流を行う(4学科教員) [課題](1)学修内容を復習する(2)課題の作文を書く(1～2h)						
14	将来に向かっての選択Ⅰ： 1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(1) [課題]目標を設定する(2h～3h)						
15	将来に向かっての選択Ⅱ： 1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(2) [課題]目標を設定し、まとめる(1h)						
時間外での学修	各回のテーマについてしっかり関心もち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても解決できない場合は、各担当教員に相談してください。						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅱ (音楽総合学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	服部 篤典・渡辺 博夫・菅田 文子・鈴木 孝育・横井 香織・松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや、社会生活の基本となる知識や技能及び行動様式を身につけます。また、様々なかたちでの振舞い方、他人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。						
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も学科単位、各コース単位など、毎回異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○		
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来設計について、おおよその見通しが持てる。			◎		
	技能	短期大学で必要な基本的な学びの技能身につけている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		25	30	-	-	55
	受講態度		-	-	20	25	45
	合計(点)		25	30	20	25	100
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。						
テキスト							
参考書・教材	資料等は授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習Ⅱガイダンス [準備・課題]後期全体の学修内容を確認し、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
2	自己分析Ⅰ(外部講師) [準備・課題]自己についての情報を収集し、自己理解を図るとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
3	自己分析Ⅱ(外部講師) [準備・課題]自己理解とともに他者に対する理解を自覚し、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
4	共同作業演習Ⅱ [準備・課題]各コースごとに協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
5	共同作業演習Ⅲ [準備・課題]各コースごとに協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
6	就職活動準備講座Ⅰ 履歴書作成・ライフプラン(就職支援課) [準備・課題]履歴書の書き方を確認し、自己のライフプランを設計する(1h~2h)						
7	社会人としてのマナーⅠ 服装編(外部講師) [準備・課題]社会人マナーとしての着こなし方や所作を確認する(1h~2h)						
8	専門的職業講話Ⅱ(外部講師:本学卒業生 ウインドアンサンブルコース、管打楽器リペアコース卒) [準備・課題]卒業生の経験を振り返り、自己の人生設計に活かす(1h~2h)						
9	社会人としてのマナーⅡ メイク編(外部講師) [準備・課題]社会人マナーとしてのメイクの仕方や所作を確認する(1h~2h)						
10	社会人基礎力 マナー・挨拶・接遇等(外部講師) [準備・課題]社会人基礎力として学んだ挨拶や接遇の仕方を振り返り、確認する(1h~2h)						
11	就職活動準備講座Ⅱ 集団面接、個人面接(外部講師) [準備・課題]学んだ面接の具体的内容を振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
12	就職活動準備講座Ⅲ 面接演習(外部講師) [準備・課題]実際の面接を友人同士で確認し合い、練習する(1h~2h)						
13	初年次教育Start program③:初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生によるグループで交流を行う(4学科教員) [課題](1)学修内容を復習する(2)課題の作文を書く(1~2h)						
14	コミュニケーション実践(外部講師) [準備・課題]コミュニケーション実践で学んだことを振り返り、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
15	教養・キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ総括 反省と今後に向けて [準備・課題]1年間全体を通して振り返り、学んだ内容をまとめる(1h~2h)						
時間外での学修	各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決してください。自分で調べても解決できない場合は、各チューターに質問する事。						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をしっかりと持って受講してください。事前に配布する「教養・キャリア基礎演習Ⅱ学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容・学び・自己評価を記入してください。オフィスアワーは、各チューターの指示に従ってください。						

【LZ】教養・キャリア基礎演習Ⅱ (歯科衛生学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・川島 智子・藤澤 さち子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など、授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等でよく確認しておいてください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			△		
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。			△		
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身に付いている。			◎		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	受講態度		-	-	-	60	60
	学修記録ノートの記述(毎回)		-	-	30	-	30
	発表		5	-	-	-	5
	レポート作成		-	5	-	-	5
合計(点)		5	5	30	60	100	
評価の特記事項	欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生には単位を与えません。 第15回教養・キャリア基礎演習Ⅱのまとめを欠席した場合は、発表に準じた課題があります。						
テキスト	なし						
参考書・教材	必要な資料は授業で配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について話し合う [準備・課題]社会人に求められる望ましい就業観・勤労観について考える(1h)						
2	個別面談：今までの学生生活や学修の様子を振り返り、自分の課題と今後の進路について考える [準備・課題]自己の課題や進路希望について、まとめる(1h)						
3	消費生活講座：若者が巻き込まれやすい消費者被害とその予防法や対処法を知り、消費生活に関する基礎知識を修得する(外部講師) [準備・課題]消費者被害とその予防法や対処法について、考えたことを記述する(1h)						
4	共同作業体験Ⅰ：みずき祭について各クラスに分かれ、ディスカッションする [準備・課題]クラスの企画について、まとめる(1h)						
5	共同作業体験Ⅱ：みずき祭について各クラスに分かれ準備する [準備・課題]クラス企画に必要な準備物を、まとめる(1h)						
6	社会人としてのマナーⅡ：社会人として必要なマナー(対人関係、冠婚葬祭など)について学ぶ(外部講師) [準備・課題]社会人としての対人関係について学んだ内容を、復習する(1h)						
7	社会人としてのマナーⅢ：メイク編 清潔感のあるより良い第一印象を与えるためのメイクの技術を学ぶ [準備・課題]社会人としての身だしなみについて、振り返る(1h)						
8	女性の生き方について考える： 女子短大生としての3年間の過ごし方と卒業後の生き方について考える(石川学科長) [準備・課題]短大在学期間と卒業後の女性としての生き方について、レポートにまとめる(1h)						
9	人権講座：人権尊重の考えを理解し、まわりの人への「心づかい」の大切さを知るとともに「心と言葉」について考える(外部講師) [準備・課題]人権尊重について学んだ内容を復習し、考えたことを記述する(1h)						
10	社会人としてのマナー： 社会人として必要なマナー(挨拶、言葉遣い、話し方、電話の応対など)について学ぶ(外部講師) [準備・課題]社会人としての言葉遣いについて学んだことを復習し、記述する(1h)						
11	歯科医療における地域貢献：歯科衛生士として歯科医療における地域貢献について学ぶ(大垣歯科医師会) [準備・課題]地域貢献について歯科衛生士の役割を復習し、考えたことを記述する(1h)						
12	マナー講座Ⅰ：会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ [準備・課題]食事のマナーで体験したことについて、まとめる(1h)						
13	初年次教育Start program③：初年次教育基礎ゼミ② 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生によるグループで交流を行う(4学科教員) [課題](1)学修内容を復習する (2)課題の作文を書く(1~2h)						
14	マナー講座Ⅱ：会食の体験を通して、食事マナーや美しい所作、もてなしの心遣いを学ぶ [準備・課題]もてなしの心遣いについて学んだ内容を調べ、復習する(1h)						
15	教養・キャリア基礎演習Ⅱまとめ：今後に向けて、14回の内容についての学びをまとめ、発表する [準備・課題]発表で不十分だったところを反省し、学修記録ノートに記述する(1h)						
時間外での学修	各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぶとする意識をもって受講してください。事前に配布する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後講義内容と感想を記録してください。 オフィスアワー：スタッフルーム(G202:G号館2F) 各担当教員の時間になります。						

【LZ】社会活動演習(幼児教育学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松村 齋						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動(こども祭、みずき祭、アクアウォークなど)や、本学の環境整備活動、保育関係の学会・研修会、シンポジウムなどに参加活動し、振り返りをおこなう。						
授業方法	活動参加及び振り返りの実施						
到達目標	知識・理解	社会の課題に気付き、適切に判断・行動することができる。			○		
	思考・判断・表現	学びの集積を自覚し、統合し活用することができる。			○		
	技能	さまざまな価値観に対応できる柔軟性を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	社会に貢献する自明観と責任感をもって、積極的に行動することができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	提出物(ポートフォリオ)		20	20	20	40	100
	合計(点)		20	20	20	40	100
評価の特記事項	ポートフォリオの提出(100%)で評価する。 3年間で、(1)行事参加、(2)環境整備活動、(3)学会・研修会・シンポジウムへの参加等をおこない、ポートフォリオを提出する。						
テキスト	なし						
参考書・教材	特に指定はしませんが、学会などの催し、研究会などは案内します。 日頃から、教育・政治・経済など社会情勢などを知るための印刷物(新聞、関連誌)を身近な教材にしてください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	方法：課題レポートの提出(100%)で評価する。 それぞれの活動を (1)行事参加 (2)環境整備活動 (3)学会・研修会、シンポジウムなどへの参加 の3分野に分類し、討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す。 3年間で (1)行事参加は30h以上(時間外活動) (2)環境整備活動は30回以上 (3)学会・研修会・シンポジウムなどへの参加は3回以上 を総合的にまとめた課題レポート(1つの行事につき所要時間1h程度)を提出する。						
時間外での学修	社会活動演習の種類によって、事前準備・学修が必要になってきます。 詳細については担当教員より連絡があります。						
受講学生へのメッセージ	社会活動に積極的に参加することによって、大学で学ぶ知識や技術を統合し、主体的・協同的な姿を備えた保育者になることを目的としています。 オフィスアワーは各教員の時間帯を参照。そのほか、必要な時にチューターに相談してください。						

【LZ】社会活動演習(デザイン美術学科)		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	田中 久志						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、デザイン・美術関係の学会・研修会に参加・活動し、社会活動演習ノートを作成する。						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。						
到達目標	知識・理解	社会の一員としての知識、社会的活動の意義を理解できる。			◎		
	思考・判断・表現	社会の一員として、ボランティア活動に必要な考えを持ち、行動することができる。			○		
	技能	身に着けた技能を社会のために活かすことができる。			○		
	関心・意欲・態度	探究心を持ち、自ら他者の手助けをする意思を持ち、行動することができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	社会活動		30	20	25	-	75
	社会活動記録ノート		-	-	-	25	25
	合計(点)		30	20	25	25	100
評価の特記事項	社会活動記録ノートは必須です。						
テキスト	なし						
参考書・教材	なし						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	2年間において、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。 <社会活動の内容> (30h) 1. 県や市町村等の主催する社会的活動への参加 2. 各種団体主催のボランティア活動への参加 3. 地域や学内で行われる行事や活動への参加 4. 小・中・高等学校等での指導や補助 5. 自主的な清掃活動 6. その他教員が推奨する社会的活動等 <報告書の提出> (15h) 社会活動後、3週間以内に社会活動記録ノートをチューターに提出してください。 *上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。						
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、社会活動記録ノート提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。						
受講学生へのメッセージ	社会活動やボランティア等の意義を理解し、積極的に参加してください。オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。						

【LZ】社会活動演習(音楽総合学科)		教養科目		1～2年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	服部 篤典						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	社会活動、ボランティア等への参加及びレポートの作成						
授業方法	活動参加及びレポート作成						
到達目標	知識・理解	地域の児童施設、高齢者施設等で専門分野を活かした指導や援助活動ができる			○		
	思考・判断・表現	各種団体が主催するボランティア活動の意義を理解し、自ら参加できる			○		
	関心・意欲・態度	自ら他人の手助けをする意思を持ちボランティア活動ができる			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	提出レポート		25	25	-	-	50
	活動に取り組む姿勢		-	-	-	50	50
	合計(点)		25	25	-	50	100
評価の特記事項	レポート提出のない学生、参加回数が15回に満たない学生には単位を与えません						
テキスト							
参考書・教材	その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1～15	<p>2年間において、下記いずれかの活動に15回以上参加し(1回2h以上)、そのレポート等(1回1h以上)を提出することによって単位を認定します。</p> <p>「社会活動の内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村等主催の社会活動への参加 ・各種団体主催のボランティア活動への参加 ・地域行事等への参加 ・保育施設、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等での指導、援助 ・その他ボランティア活動 						
時間外での学修	社会活動演習は授業として行うものではありません。全て授業外で自ら参加する活動です。						
受講学生へのメッセージ	自主的に取り組む授業となりますので、各々の記録をその都度残すようにしてください。オフィスアワーは、各チューターの指定時間と場所になります。						

【LZ】社会活動演習(歯科衛生学科)		教養科目		1～3年通年		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	石川 隆義					
資格・制限等	特になし					
実務家教員						
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、歯科医学関係の学会・研修会、地域保健活動に参加・活動し、社会活動演習日誌を作成する。					
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。					
到達目標	知識・理解	社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な知識を身につけることができる。			◎	
	技能	社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能についてその基礎を身につけることができる。			◎	
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む事ができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	社会活動演習日誌内容	42	-	42	-	84
	社会活動演習日誌提出状況	-	-	-	16	16
	合計(点)	42	-	42	16	100
評価の特記事項	社会活動演習日誌内容の84%は *7点(1回)×12回(A:7点 B:6点 C:5点)で評価します。実施日より3週間以上経過して日誌を提出した場合には減点します。					
テキスト	なし					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	<p>歯科衛生学科3年間で、(1)学内活動 (2)学外活動の2分野において社会活動演習を行います。 ※活動合計時間数が30h以上になること</p> <p>(1)学内活動・・・3年間で7回以上参加 (内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：FSC(ファーストステップキャンパス) みずき祭 (前夜祭と本番で1回) 研修旅行 (2年生) オープンキャンパスサポーター その他 (その他の行事予定はその都度、掲示などで連絡します。)</p> <p>(2)学外活動・・・3年間で5回以上参加 (内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：十万石まつりなどの地域で開催されている行事へのボランティア活動 その他のボランティア活動 (歯科衛生学科長が認めたもの) 該当研修会・学会：日本歯科衛生士会・岐阜県歯科衛生士会主催の学会・研修会 日本歯科医師会・岐阜県歯科医師会主催の学会・研修会 教員が推奨する各種学会・研修会 (学会等の予定はその都度掲示などで連絡します。) *上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。</p> <p>注意事項：上記活動に参加後、3週間以内に社会活動演習日誌をチューターへ提出してください。 (作成時間数：1回の活動につき1h以上) 原則、日誌は実施後から1か月以内の提出とします。 *実施日より3週間を経過して日誌を提出した場合には減点対象となります。 日誌提出後、所定欄にチューターより検印をもらおうと社会活動として認定されます。</p>					
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、日誌提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。					
受講学生へのメッセージ	地域に貢献できるような活動への参加を期待します。主体的に取り組んでください。オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。					

【LZ】社会活動演習(看護学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	佐々 敏						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	短大や地域の市町村・県などの主催する社会活動や地域医療活動に参加することにより、地域とその医療の維持・向上に貢献すると共に地域住民とのコミュニケーションの機会とする。また、各種団体主催のボランティア行事、学会・研修会等に参加し、看護の専門性を学ぶ機会とする。						
授業方法	活動内容により異なるが、事前学習や事前準備をし、活動後には活動記録を作成して学びの確認を行う。						
到達目標	知識・理解	社会活動の意義を理解し、社会人としての知識を活用して活動に参加できる。			◎		
	思考・判断・表現	地域で生活する人々と交流し、さまざまな人の価値観や生き方に触れることで思考力・判断力を高めると共に、活動の中で自己の考えを表現できる。			○		
	技能	地域で活動する人々とのコミュニケーション能力と協働能力の必要性を理解できる。			△		
	関心・意欲・態度	社会活動に関心を持ち積極的に諸活動に参加できる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		50	20	10	20	100
	合計(点)		50	20	10	20	100
評価の特記事項	参加した回数が多ければ、関心・意欲に反映されます。						
テキスト	特になし						
参考書・教材	活動内容により必要時に資料を提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>看護学科3年間で、</p> <p>(1) 学内活動</p> <p>(2) 学外・地域活動</p> <p>(3) 学会・研修会およびシンポジウム</p> <p>などに参加して、社会活動用紙に自らの行動の振り返りを記録します。</p> <p>3年間で6回以上(30時間以上)参加し、社会活動演習で学んだことをまとめて社会活動記録を作成し考察します。</p> <p>[課題] 興味のある社会活動について、情報収集し、計画的に参加する。(3h)</p> <p>[課題] 自ら参加した社会活動の意義を考える。(5h)</p> <p>[課題] 3年間のあいだに参加した社会活動を振り返り、その学びを統合する。(5h)</p> <p>[課題] レポートを作成する。(10h)</p>						
時間外での学修	社会活動演習は全て自ら企画・参加する活動です。						
受講学生へのメッセージ	積極的に社会活動に参加することで学内授業では学べない多くの知恵や知識を身につけてください。ボランティア活動への積極的参加を期待します。オフィスアワーは各チューター毎の時間設定となります。						

【LZ】基礎教養特講		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	茂木 七香・矢田貝 真一						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学習した内容の定着や深化を図り、一般的な社会常識なども含めて学びます。中心となる内容として、専門科目の学修につながる幅広い基礎的知識、他の教養科目や専門科目を学ぶ際に必要となる基本的知識、一般的な社会人に求められる常識的な知識などを学んでいきます。						
授業方法	復習のための確認問題に取り組み、その解説、さらに定着を図るための練習問題に取り組むという流れで授業を展開します。それぞれがしっかりと予習や復習に取り組んだ上でのぞんでください。この授業では、SA（スチューデント・アシスタント）の学生がサポートにあたります。						
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基礎となるとともに社会人に教養として求められる知識を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	社会人に求められる教養としての思考力や判断力を身につける。			○		
	技能	社会人に求められる教養の1つとして、知的操作や技法の基礎を身につける。			△		
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学習に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		40	10	-	-	50
	学修記録		10	10	5	-	25
	学修成果の自己評価		-	-	5	10	15
	受講態度(学修・提出等の状況)		-	-	-	10	10
合計(点)		50	20	10	20	100	
評価の特記事項	前期と後期で15回以上受講し、かつ、試験を受けて合格することで、単位が取得できます。						
テキスト	『就活力アップシリーズ 一般常識チェック&マスター 短大生・専門学校生の就職筆記試験対策 改訂版』山野晴雄・河西章夫 他 実教出版(926円) ISBN:978-4-407-32160-9						
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	【前・後期】オリエンテーション (社会で必要な教養について、学修の進め方や教材について、基礎確認テスト、他) [準備・課題]基礎確認テストの復習と次時内容の予習を確実に(1～2h)						
2	【前期】世界史・思想文化史と難読漢字の定着と発展 【後期】地理1・漢字1の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:世界史・思想史、後期:地理、通年:漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1h)						
3	【前期】方程式・同音異義語の定着と発展 【後期】式の計算1・漢字2の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:方程式・同音異義語、後期:式の計算・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1～2h)						
4	【前期】政治と憲法・同訓意義語の定着と発展 【後期】地理2・漢字3の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:政治と憲法・同訓意義語、後期:地理・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1h)						
5	【前期】文章題1・同義語と対義語の定着と発展 【後期】式の計算2・漢字4の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:文章題・同義語と対義語、後期:式の計算・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1～2h)						
6	【前期】経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 【後期】日本史1・漢字5の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:経済と福祉・ことわざと故事成語、後期:日本史・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1h)						
7	【前期】文章題2・四字熟語1の定着と発展 【後期】文字式・漢字6の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:文章題・四字熟語、後期:文字式・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1～2h)						
8	【前期】社会生活・四字熟語2の定着と発展 【後期】日本史2・漢字7の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前:社会生活・四字熟語、後期:日本史・漢字)の復習と次時内容の予習を確実に(1h)						
9	【前期】図形・慣用表現と敬語表現の定着と発展 【後期】式の展開と因数分解・同字異読語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容(前期:図形・慣用表現と敬語表現、後期:式の展開と因数分解・同字異読語)の復習とこれまで学んだ内容の全体について復習を行う(1～2h)						
10	【前・後期】まとめ(第1回～9回までの学修の確認と定着) [準備・課題]これまでに学んだ内容の総合的な復習を行う(1～4h)						
時間外での学修	[準備・課題]として示した内容、()の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。教科書以外の問題集なども使って、各自で学修を進めてください。						
受講学生へのメッセージ	授業内容は後期から次年度の前期までで完結するように計画されています。授業での学修内容の理解と定着を図るため、できるだけ連続して参加しましょう。単位取得を希望しない場合も自主学習のペース作りとして参加できます。開講時期・回数は、前期:5月22日(水)～7月24日(水)の10回、後期:9月25日(水)～11月27日(水)の10回です。オフィスアワーはA306で毎週火曜日10:00～12:00です。						